

令和3年度 全国学力・学習状況調査 さくら市の結果について  
 (とちぎっ子学習状況調査の結果との関連を図りながら)

1 調査の概要

(1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として、全児童生徒

(3) 調査内容

① 教科に関する調査

小学校調査は、国語及び算数とし、中学校調査は、国語、数学とする。

出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
- ・調査問題では、上記を一体的に問うこととする。

② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査 (※)	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 ・挑戦心、達成心、規範意識、自己有用館等 ・ICTを活用した学習状況 ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況 ・学習に対する興味・関心や授業の理解度等 ・新型コロナウイルス感染症の影響	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 ・生徒指導等 ・学校運営に関する状況／教職員の資質向上に関する状況 ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況 ・各教科の指導方法 ・新型コロナウイルス感染症の影響

(4) 調査日時

令和3年5月27日(木)

※ この結果が学力全体を示すものでないこと、学力の一部であることを押さえる。

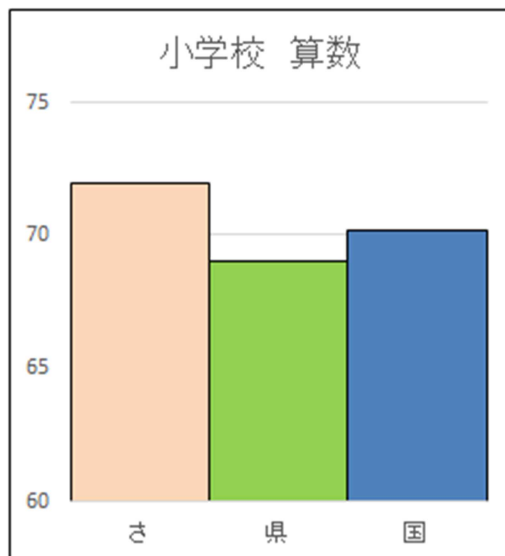
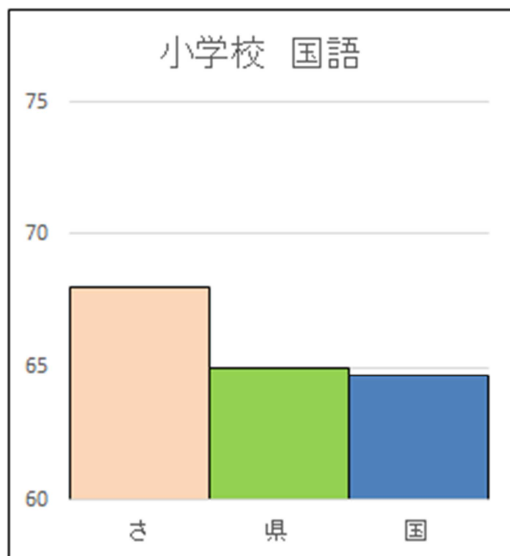
## 2 教科に関する調査の結果概要

### (1) 平均正答率から

#### ① 小学校

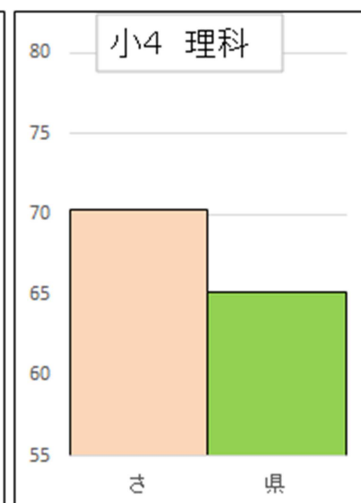
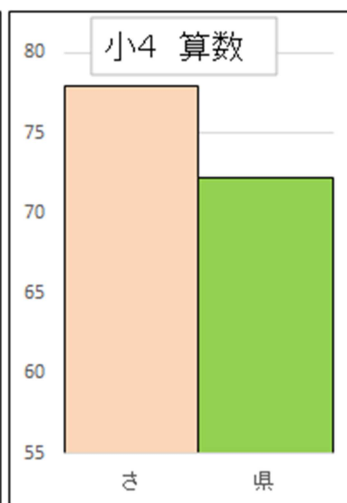
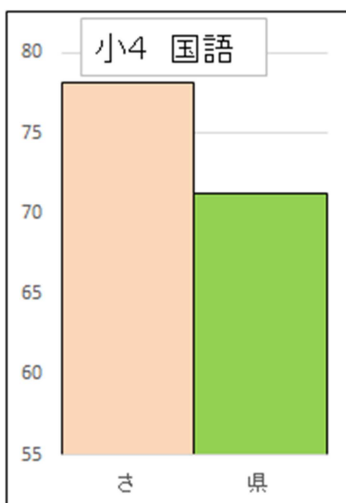
##### ア 全国との比較 (小学6年生)

- 国語、算数ともに上回っている。
- 国語は、全国平均と比べて高い。算数は、全国平均なみ。  
(県では、「2ポイント以上の差を『特徴』にとらえる。」  
= 「2ポイント内なら同程度と言える」としている。  
= 2ポイント以上～3ポイント未満・・・やや高い。やや低い。  
= 3ポイント以上～5ポイント未満・・・高い。低い。  
= 5ポイント以上・・・かなり高い。かなり低い。

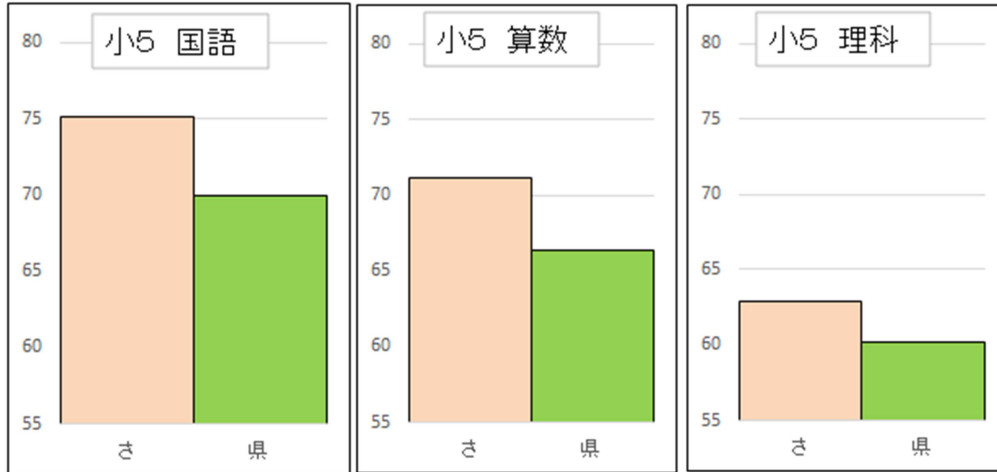


##### イ 県版調査における県との比較 (小学4年生・5年生) R 3

- 4年生は、3教科とも上回っている。
- 国語、算数、理科ともに、県平均よりかなり高い。



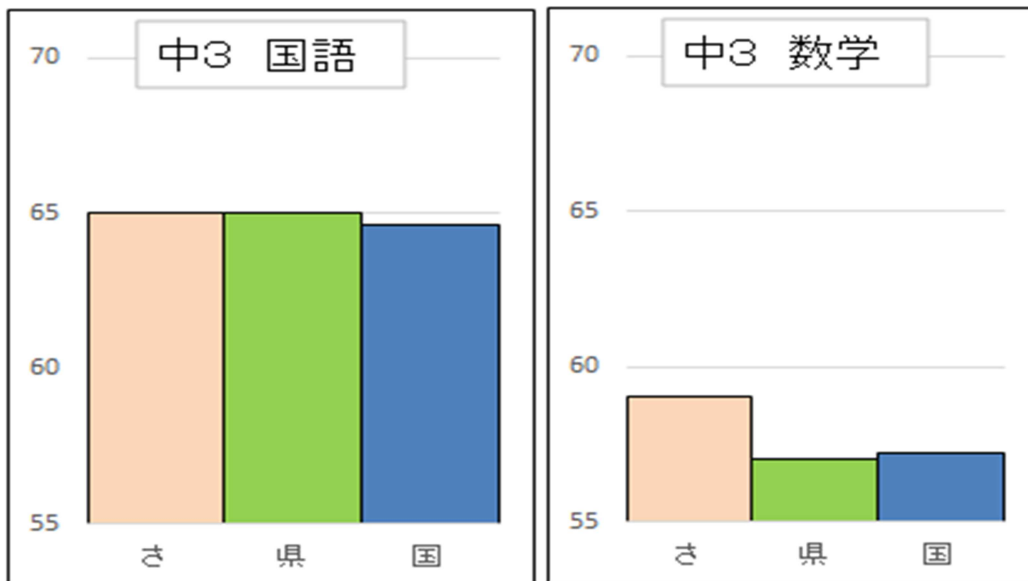
- 5年生は、3教科とも上回っている。
- 国語は、県平均よりかなり高い。
- 算数は、県平均より高い。
- 理科は、県平均よりやや高い。



② 中学校

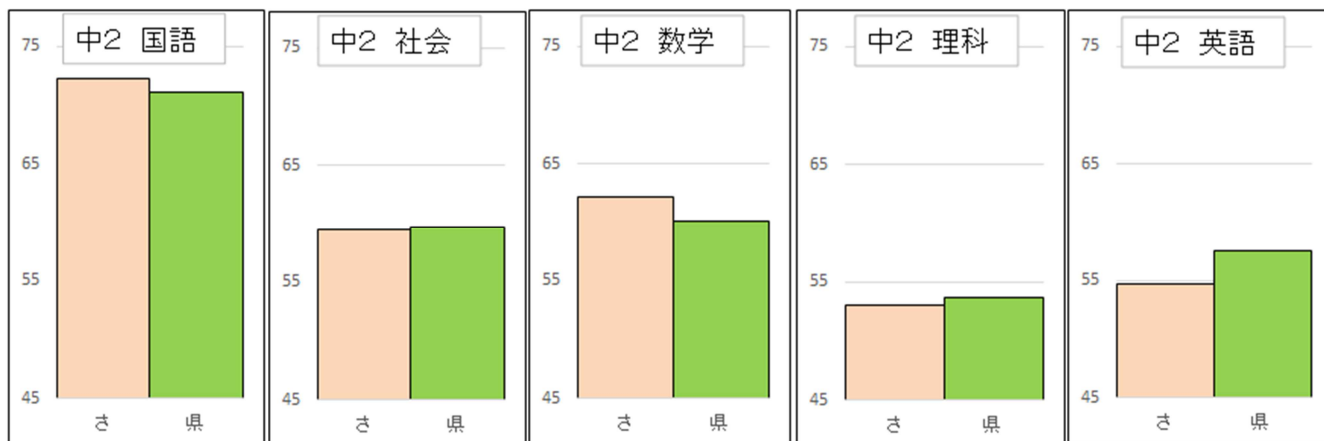
ア 全国と比較して（中学3年生）

- 国語、数学ともに、上回っている。
- 国語、数学ともに、全国平均なみといえる。



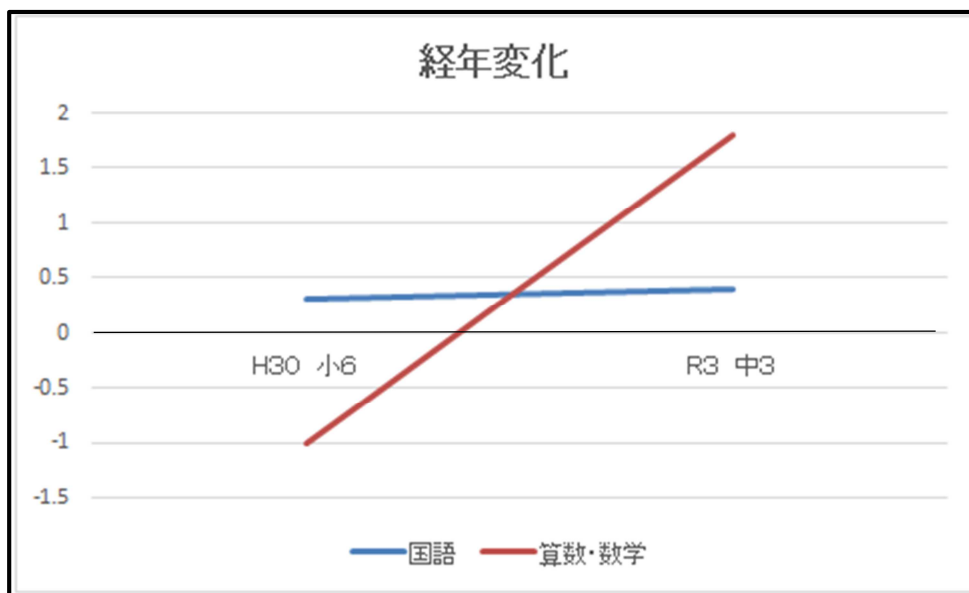
イ 県版調査における県との比較（中学2年生）

- 国語と数学は上回っている。社会、理科、英語は下回っている。
- 数学は、県平均よりやや高い。
- 国語・社会・理科は、県平均なみといえる。
- 英語は、県平均よりやや低い。



(2) 経年変化について

- ① 全国平均との比較（H30 小学6年生とR3 中学3年生の経年変化） R 3

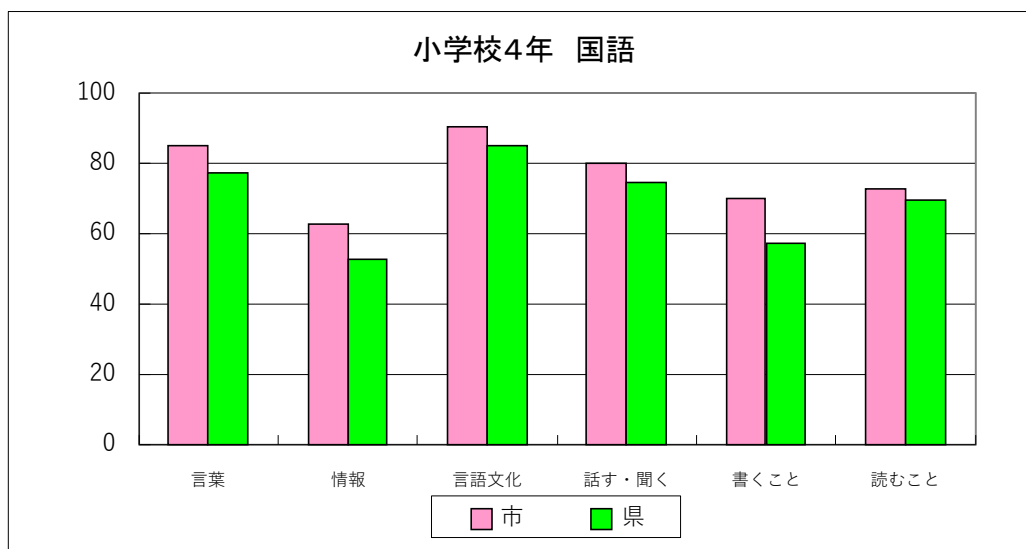
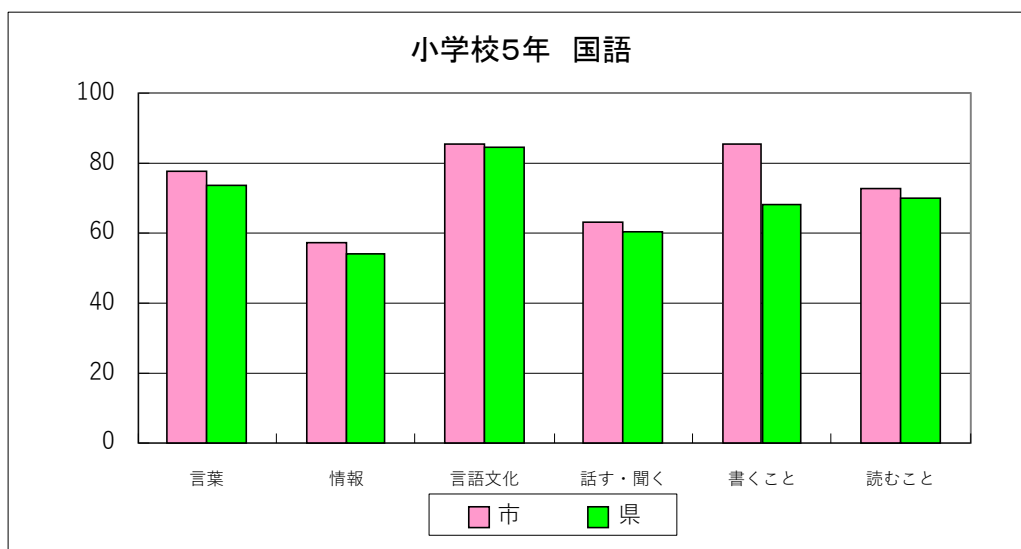
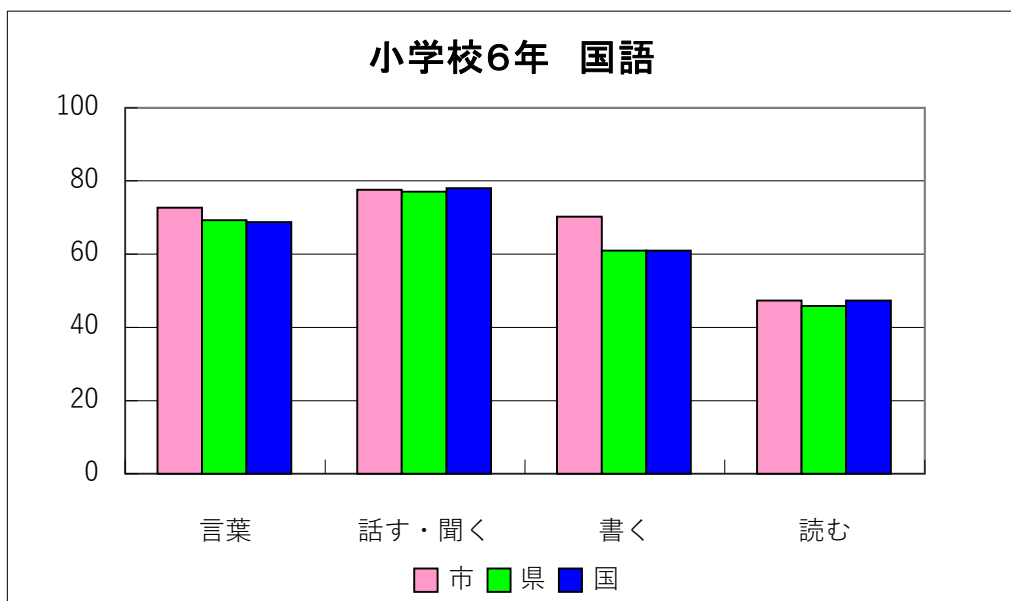


- ・ 国語、算数・数学ともに向上が見られた。
- ・ 特に、算数・数学は、大幅な向上が図られた。

(3) 分類・区別の結果から

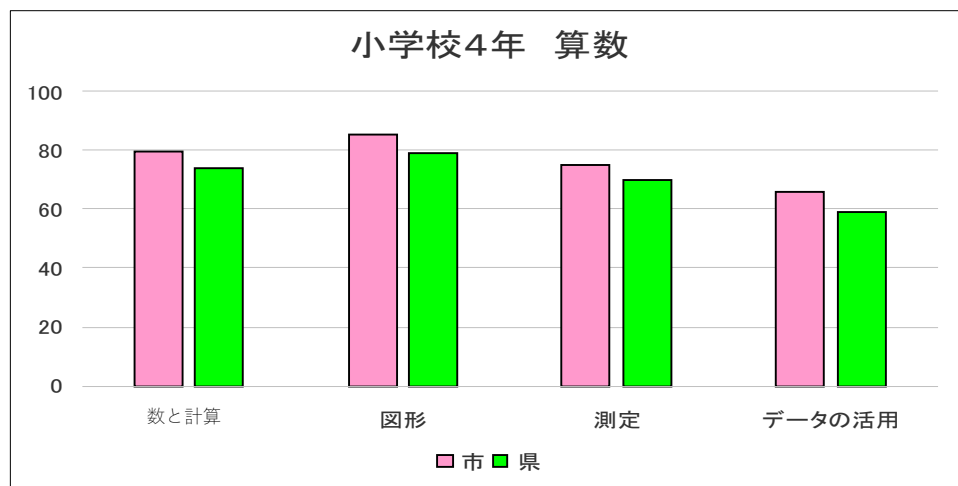
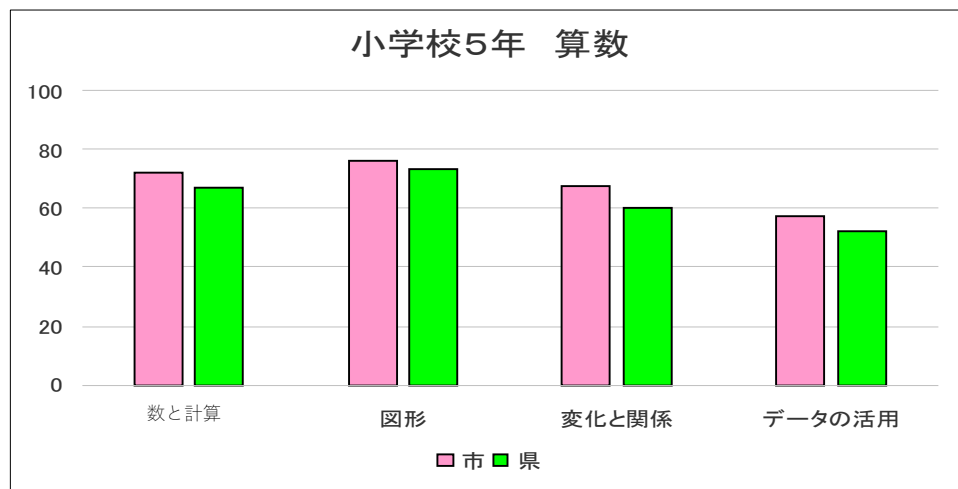
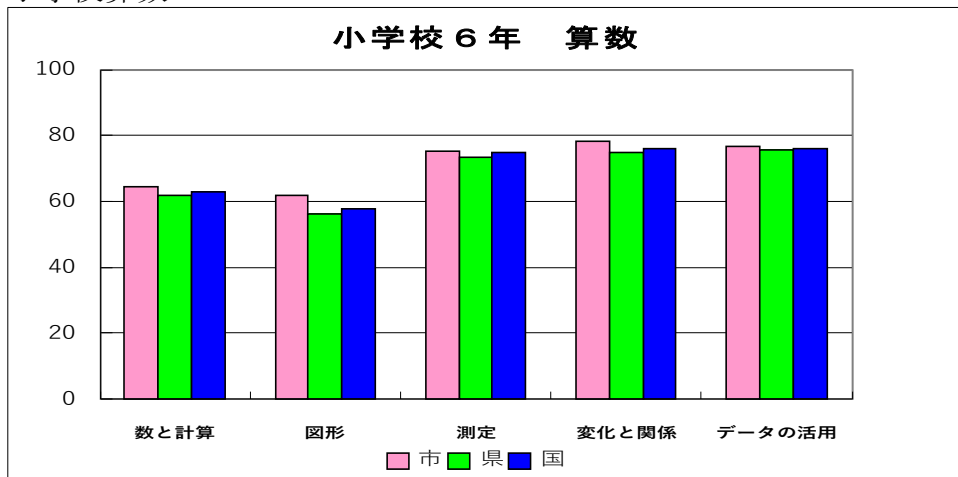
(4・5年生・・・県平均との差、6年生・・・全国との差)

① 小学校国語



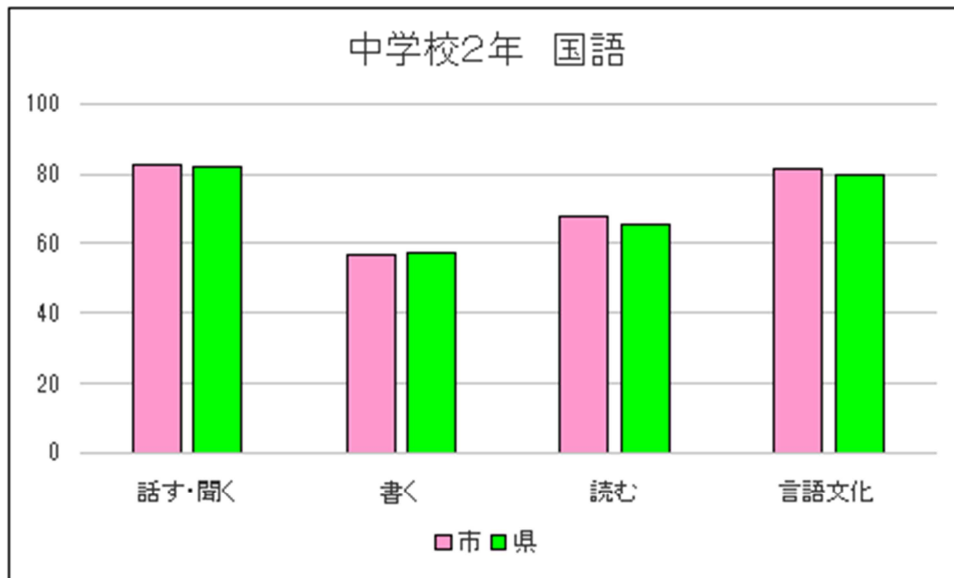
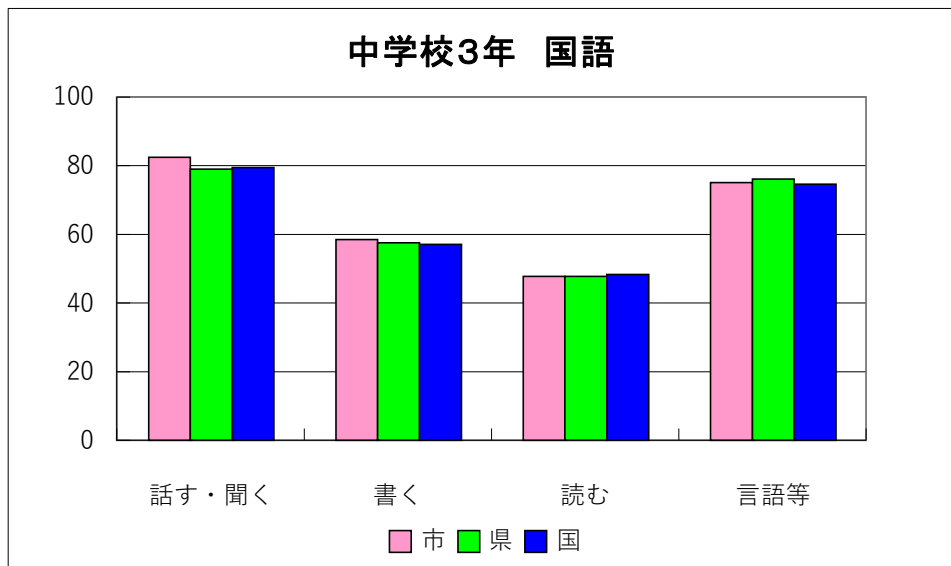
- 6年：「書く」は、全国平均よりかなり高い。「言語事項」は、全国平均より高い。「話すこと・聞くこと」や「読むこと」は、全国平均なみ。
- 5年：「書く」は、県平均よりかなり高い。「言葉」や「情報」、「読む」は、県平均より高い。「話す・聞く」は、県平均よりやや高い。「言語文化」は、県平均なみ。
- 4年：「言葉」や「情報」、「言語文化」、「話す・聞く」、「書く」は、県平均よりかなり高い。「読む」は、県平均より高い。
- さくら市の児童は、概ね良好。

② 小学校算数



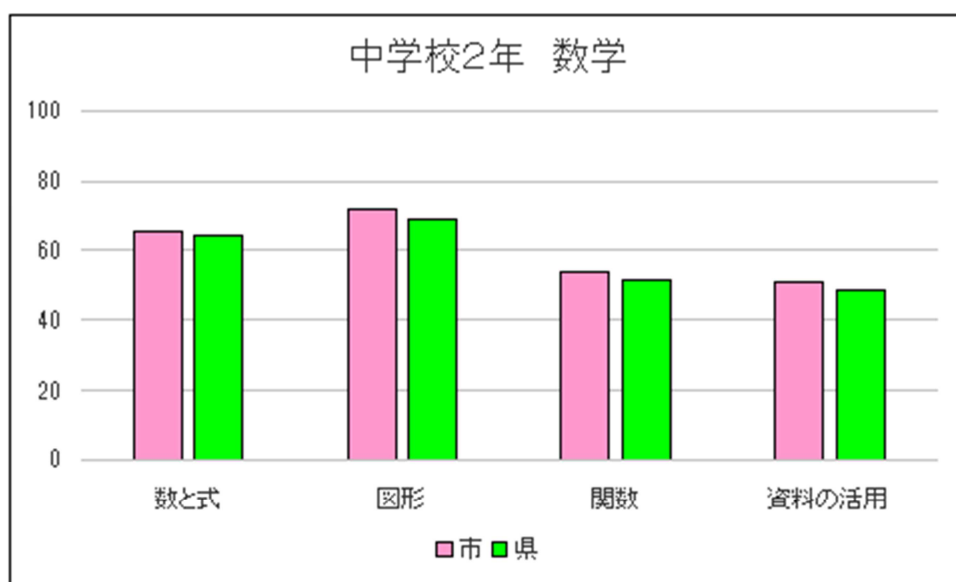
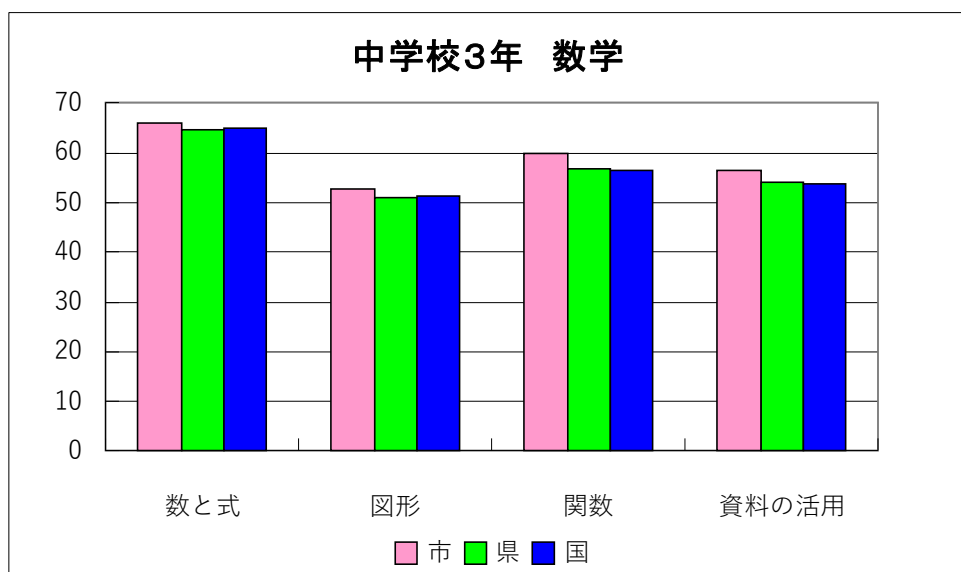
- 6年：「図形」は、全国平均より高い。「変化と関係」は、全国平均よりやや高い。「数と計算」や「測定」、「データの活用」は全国平均なみ。
- 5年：「数と計算」や「変化と関係」、「データの活用」は、県平均よりかなり高い。  
「図形」は、県平均より高い。
- 4年：「数と計算」や「図形」、「データの活用」は、県平均よりかなり高い。  
「測定」は、県平均より高い。
- さくら市の児童は、概ね良好。

③ 中学校国語



- 中学校3年：「話す・聞く」の領域は、全国平均よりやや高い。それ以外の領域は全国平均なみである。
- 中学校2年：「読む」の領域は県平均よりやや高い。それ以外は、県平均なみ。
- さくら市の生徒は、概ね全国・県平均なみである。

④ 中学校数学

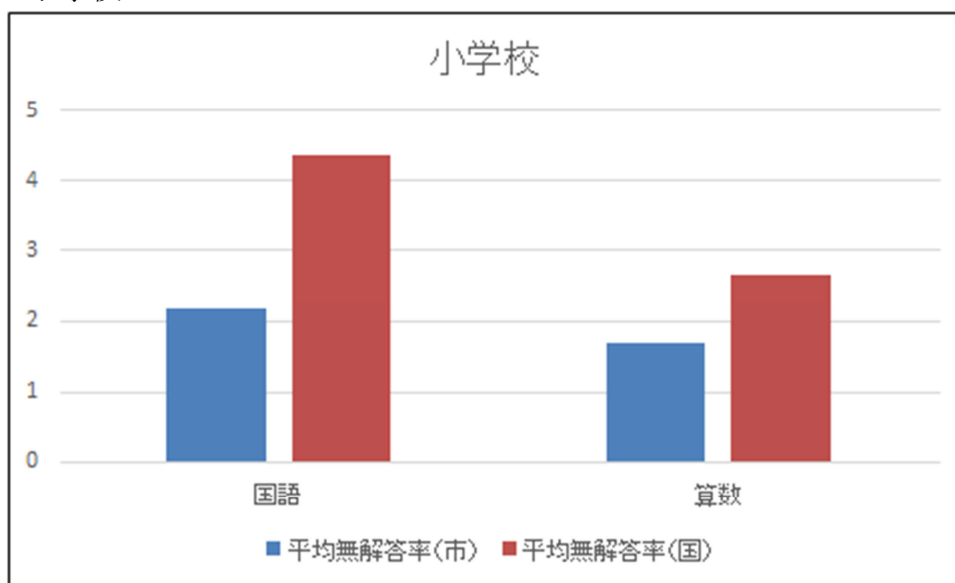


- 中学校3年 : 「関数」の領域は、全国平均より高い。「資料の活用」は、全国平均よりやや高い。「数と式」や「図形」は、全国平均なみ。
- 中学校2年 : 「図形」や「関数」、「資料の活用」の領域は、県平均よりやや高い。「数と式」の領域は、県平均なみ。
- さくら市の生徒は、概ね良好。



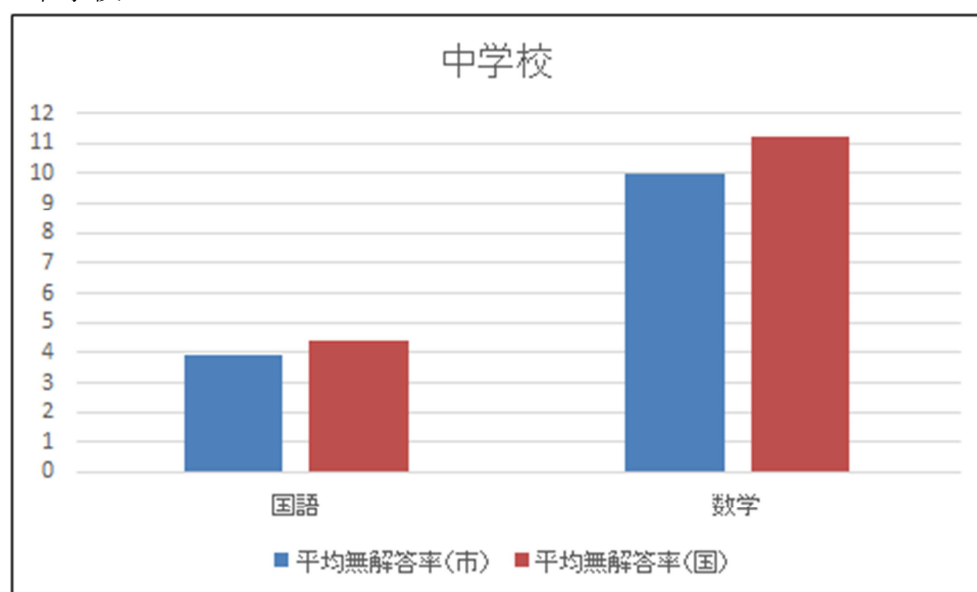
(4) 無解答率（白紙で解答した児童生徒の率）

① 小学校



○ 国語、算数ともに全国平均と比べて無解答率が低い。

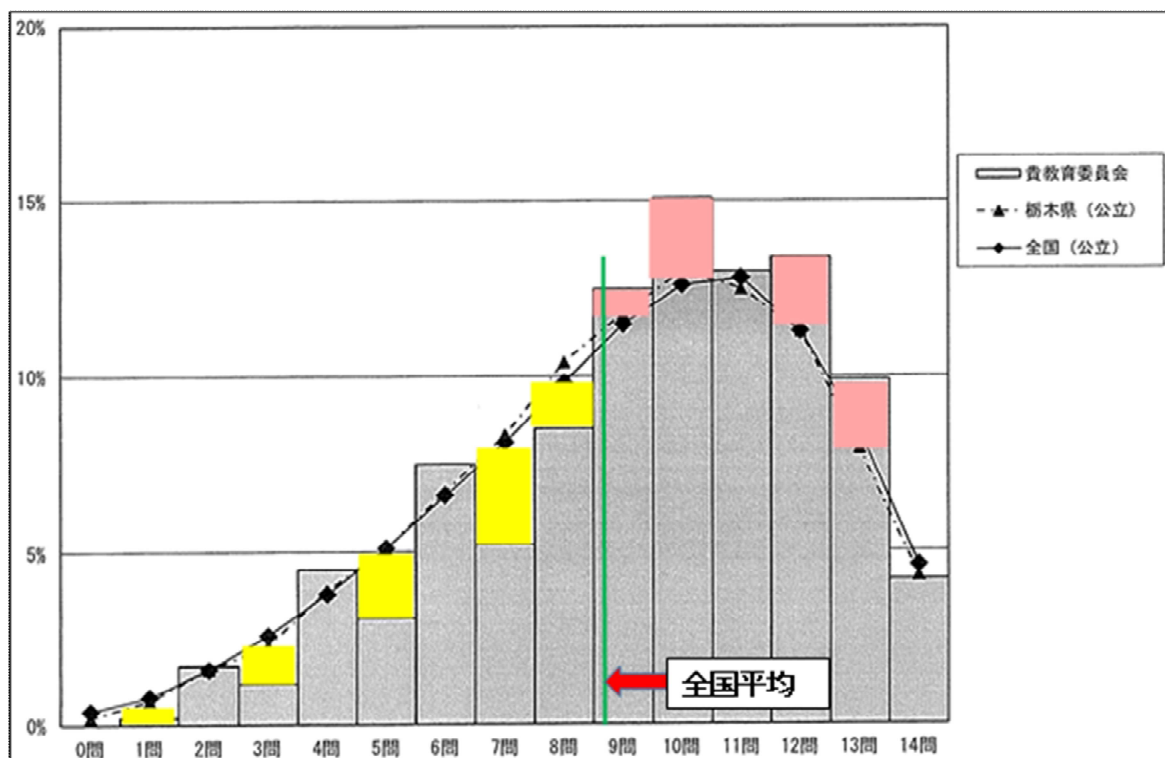
② 中学校



○ 国語、算数ともに全国平均と比べて無解答率が低い。

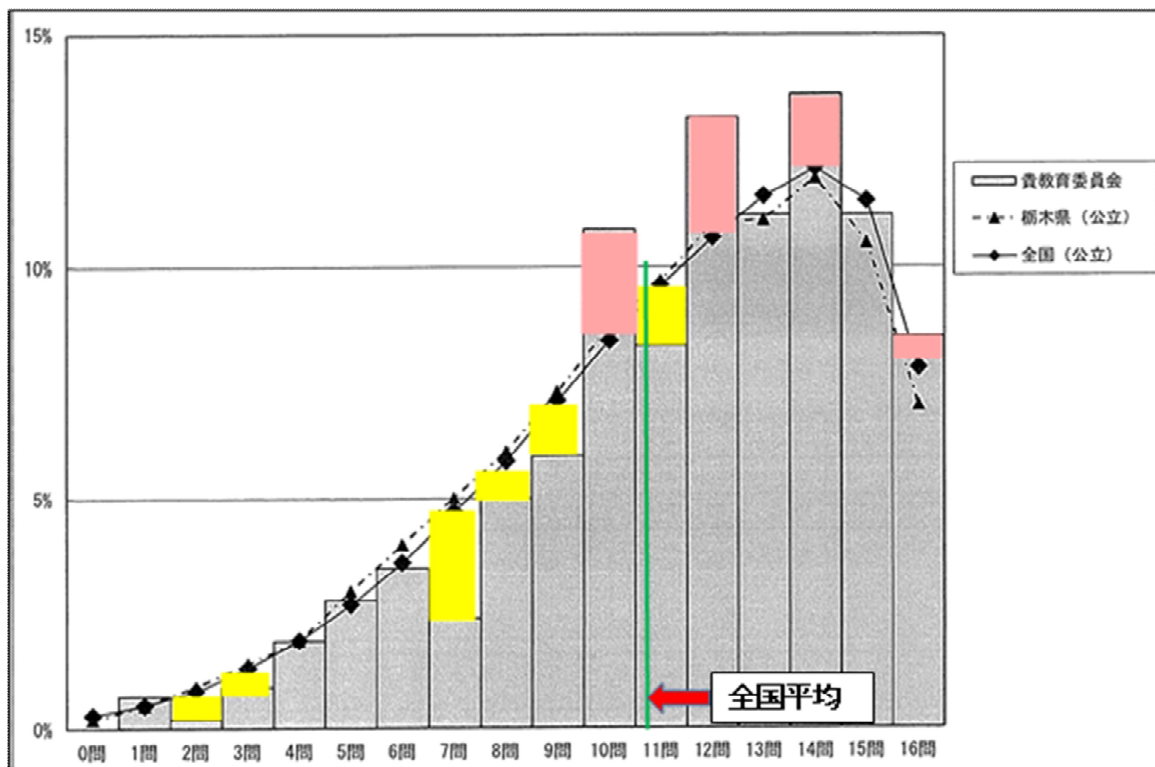
(5) 正答数分布

① 小学校国語



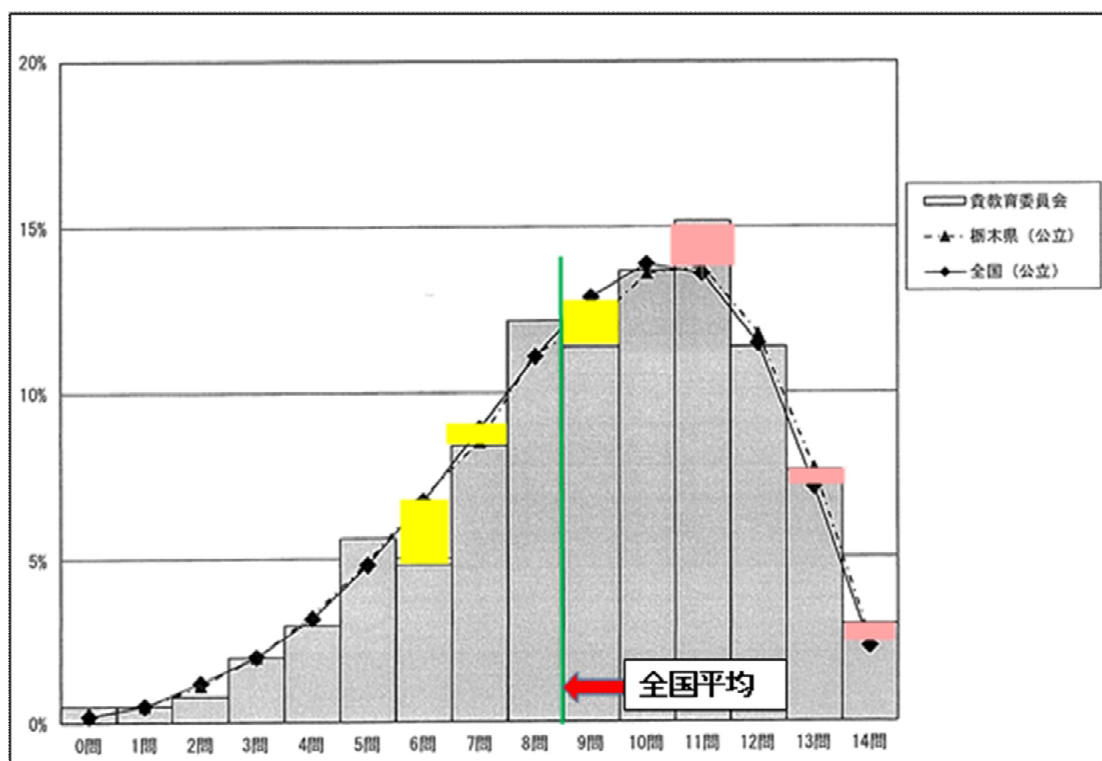
○ 国語は、上位の層が多い。下位層は、少ない傾向にある。

② 小学校算数



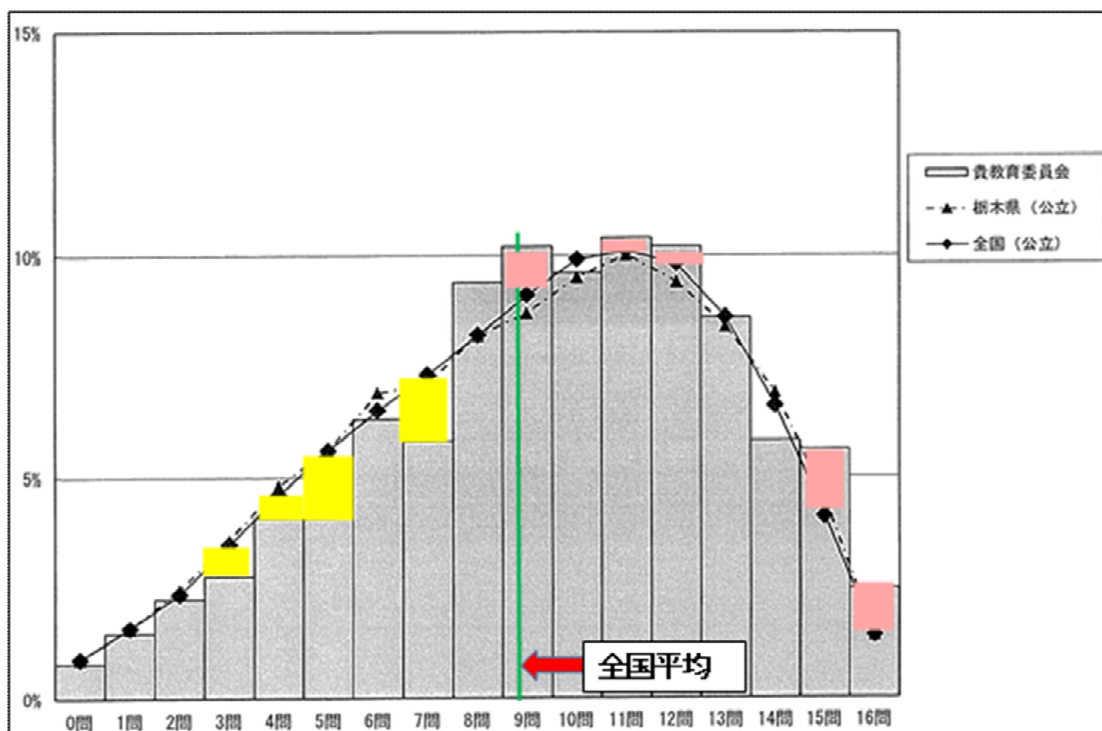
○ 算数も、上位層が多い。下位層は少ない傾向がある。

③ 中学校国語



○ 国語は、上位層が多い。下位層は少ない傾向がある。

④ 中学校数学



○ 数学も、上位層が多い。下位層は少ない傾向がある。

(6) 課題が見られた問題

① 小学校国語問題 (1)二 さくら市・・・71.0%、全国・・・74.9%)

- 1 難しい言葉の意味を示すことで、聞き手に正確に理解してもらうため。
- 2 自分の疑問点を示すことで、聞き手に新しい情報を示すこと、聞き手に新たな興味をもってもらうため。
- 3 スピーチでは話さない情報を示すことで、聞き手に新たな興味をもってもらうため。
- 4 特に伝えたいことの要点をまとめて示すことで、聞き手の理解を助けるため。

〔スピーチメモ〕

〔はじめ〕

○話題の提示 (資料①)  
・新五千円札の額  
・津田さんの説明

○津田さんの業績 (資料②)  
・女性英学塾の設立  
・女性英語教師を育成  
・女性の英語教師を育成 (資料③)

○自分の得意 (資料④)

〔資料①〕

「(資料①)を示す」みなさん、これを見て下さい。今度新しい五千円札の「額」となるのは、津田梅子さんです。私は、どのような業績を残した人なのかを調べてみました。

津田さんは、今から約百年前の教育者で、女子教育の発展に力を尽くした人です。日本初の女子留学生として六歳から十一年間アメリカで教育を受けた津田さんは、女性のための新しい学校を日本につくりたいという夢をもつようになりました。津田さんは、社会に出て活躍する女性を育てる教育の現実に目指したのです。そんな津田さんの業績の中から、二つのことを紹介します。

(資料②)を示す二つは、「女子英学塾」を設立したことと、津田さんは、二十四歳で再びアメリカに渡り、大学で学びます。そして一九〇三年三十五歳のときに、日本で学校を設立するという長年の夢を実現しました。これが女子英学塾です。今の大学と同じような勉強をする学校です。当時の日本には、女性の通えるような学校がほとんどありませんでした。

(資料③)を示すもう一つの業績は、この学校で女性の英語教師を育成したことと、女子英学塾では、学生が英語教師の資格をとることを目標にかけました。津田さんは、授業の中でよく学生たちと英語で議論をかわしました。学生がどんな意見をもっても批判することはありませんでしたが、はっきりと自分の意見を言わないときは厳しく指導をしました。そして開校から三年後、第一回卒業生の半数以上が、女性で初めての英語教師の資格試験の合格者となりました。

(資料④)を示すこの地図を見て下さい。このように、津田さんは、社会に出て活躍する女性を育てる世の中に送り出したのです。

津田さんは、信念をもって夢を成し遂げ、新たな道を切り開いた人だと思います。津田さんの、だれもが社会で活躍する可能性を広げた業績は、素晴らしいと思います。私は、津田さんのこの業績が、新しいお札の「額」となることになったのだと思いました。

〔資料①〕

〔資料②〕

〔資料③〕

〔資料④〕

〔資料①〕

〔資料②〕

〔資料③〕

〔資料④〕

〔資料①〕

〔資料②〕

〔資料③〕

〔資料④〕

今後に向けて

「資料を活用する」とは、音声言語だけでは理解しにくかったり、誤解を招きそうだったりする場合などに、資料を使いながら話すことである。その際、聞き手の立場に立った上で、話す内容を見直すとともに、目的に応じて、どのような資料を準備し、どのように使うかということも明確にすることも大切である。

資料を用いる目的は、説明を補足すること、伝えたいことを強調すること、聞き手に正確に理解してもらうことや一緒に考えてもらうこと、新たな興味をもってもらうことなどが考えられる。

実際に用いる資料としては、必要な文言や数値などの引用や実物、画像や映像などの使用、図解したものや重要な語句の定義付けなどの明示が挙げられる。その際、目的や相手、状況などを踏まえ、話す内容と資料の整合、適切な時間や機会での資料の提示の仕方や量などにも注意する必要がある。

実際の授業場面では、情報収集の際に集めた資料をすべて使おうとする児童の姿も見られる。そのような際には、自分の伝えたいことを伝えるために必要な資料は何かを、目的や相手、状況に応じて取捨選択できるように指導していくことが大切である。

② 小学校算数問題 (4) (2) さくら市…52.1%、全国…55.5%)

4

こはるさんたちは、今までに学習してきた、いろいろなわり算の問題についてふり返っています。

(2) 8人に、4Lのジュースを等しく分けます。

1人分は何Lですか。求める式と答えを書きましょう。

今後に向けて

除法の場合では、何が被除数で、何が除数かを捉えて立式することができるようにすることが重要である。

本設問で $8 \div 4$ と解答した児童は、除数が(大きい数)  $\div$  (小さい数)であると捉えていたり、問題文に示されている数値の順序通りに立式したりしていると考えられる。

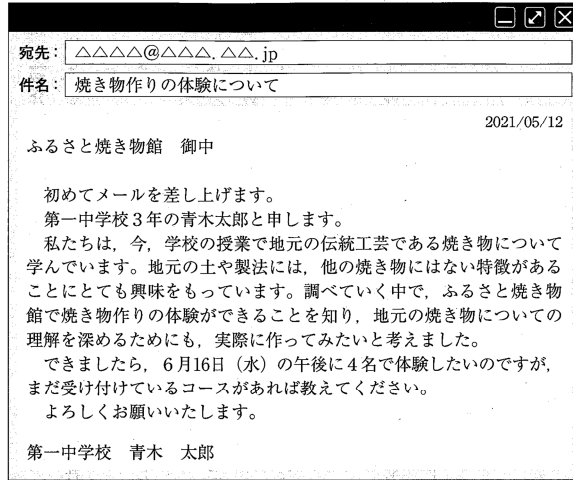
指導に当たっては、例えば、本設問を用いて、8人に4Lのジュースを等しく分けるということ、4Lのジュースを8人に等しく分けると言い換えたり、 $4 \div 8 = 0.5$ という立式の理由を解釈する場を通して、問題場面に対応した式について話し合ったりする活動が考えられる。その際、具体物を操作したり、下の絵や図のようにあらわしたりしながら、「なぜ $4 \div 8$ の式になるといえるのか」について理由を説明できるようにすることが大切である。

また、 $8 \div 4 = 2$ の式を扱う際は、「(大きい数)  $\div$  (小さい数)をしたのではないのでしょうか。」や「8人に4Lを分けるときに $8 \div 4 = 2$ の式になりますね。」などと、 $8 \div 4$ と立式した背景を想像し共感的に受け止めながら、問題場面を適切に理解し、数学的に表現できるようにすることも大切である。

③ 中学校国語問題 (4二 さくら市・・・70.4%、全国・・・74.0%)

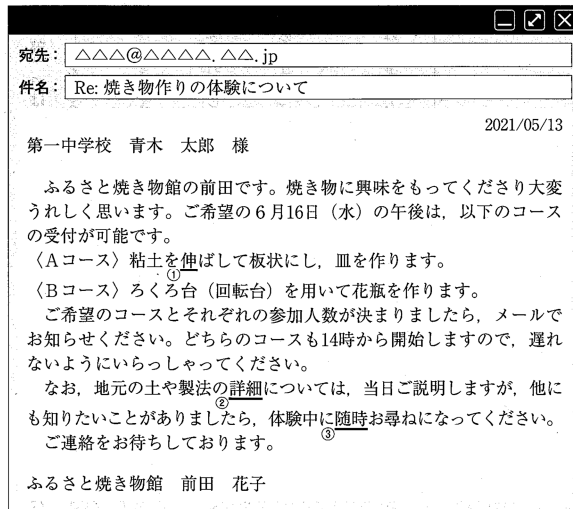
- 4 そのとがびん
- 3 少しの間
- 2 次第に
- 1 別のとき

二 — 線部③「随時」の意味として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。



青木さんが送信した「二回目のメール」

4 総合的な学習の時間で、地元の伝統工芸である「焼き物」について調べている青木さんのグループは、「ふるさと焼き物館」で焼き物作りの体験をしたいと考え、担当者とメールのやりとりをしています。次は、青木さんが送信した「二回目のメール」、担当者からの返信メール、青木さんが送信する「二回目のメールの下書き」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。



「担当者からの返信メール」

今後に向けて

事象や行為などを表す多様な語句については、生活の中の様々な場面や状況に応じて、適切に使うことができるように指導することが大切である。

例えば、本問のように電子メールをやりとりする場面を設定し、目的や意図に応じた適切な表現について考えるなどの学習活動が考えられる。その際、辞書を活用して似た意味をもつ語句を調べたり、複数の語句を比べてどれが最もふさわしい表現かを検討したりすることも効果的である。

④ 中学校数学問題 (6) (3) さくら市・・・28.4%、全国・・・30.3%

(3) 二人は、自然数を6つずつに区切った表でも、四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和が4の倍数になるかを考えることにしました。そこで、次の図3のような表をつくり、四角で囲んだ4つの数の和について調べました。

図3

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30

1, 2, 7, 8のとき  $1 + 2 + 7 + 8 = 18 = 2 \times 9$   
 17, 18, 23, 24のとき  $17 + 18 + 23 + 24 = 82 = 2 \times 41$

これらの結果から、図3のときは四角で囲んだ4つの数の和が、4の倍数にならないことがわかります。そこで、真菜さんは、四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和がどんな数になるかを調べるために、左上の数を $n$ として、右上の数を $n+1$ 、左下の数を $n+6$ 、右下の数を $n+7$ と表し、次のように計算しました。

真菜さんの計算

$$\begin{aligned} & n + (n+1) + (n+6) + (n+7) \\ &= n + n + 1 + n + 6 + n + 7 \\ &= 4n + 14 \\ &= 2(2n + 7) \end{aligned}$$

$n$	$n+1$
$n+6$	$n+7$

前ページの真菜さんの計算から、四角で囲んだ4つの数の和は、 $2(2n+7)$ になるので2の倍数になることがわかります。このことについて、二人は話し合っています。

真菜さん「自然数を6つずつに区切って表をつくったときは、4つの数の和が $2n+7$ の2倍になることがわかるね。」

優太さん「 $2n+7$ はどんな数なのかな。」

$2(2n+7)$ の $2n+7$ は、 $n+(n+7)$ と変形することができます。このことから、四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和は、左上、右上、左下、右下の数のうち、ある2つの数の和の2倍であることがわかります。

四角で囲んだ4つの数の和は、どの位置にある2つの数の和の2倍ですか。「はは.....である。」という形で書きなさい。

今後に向けて

数の性質について成り立つ事柄を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明できるようにすることが大切である。

本設問を使って授業を行う際には、自然数を五つずつに区切った表を六つずつに区切った表に変えて、四角で四つの数を囲むとき、四角で囲んだ四つの数の和は、2つの倍数になることを見だし、どんな数の2倍であるか説明する活動を設定することが考えられる。その際、四角で囲んだ四つの数を、 $n$ 、 $n+1$ 、 $n+6$ 、 $n+7$ と表したことから、 $2n+7$ の四角で囲んだ数とどのような関係にあるのかを考え、四角で囲んだ四つの数のうち、 $n$ と $n+7$ の和、 $n+1$ と $n+6$ の和で表されると捉えることが大切である。その上で、 $n$ は左上の数で、 $n+7$ は右下の数であることを確認し、「四角で囲んだ4つの数の和は、左上の数と右下の数の和の2倍である。」のように事柄の特徴を数学的に説明できるようにすることが大切である。

(7) 学習や生活状況に関する調査の概要 (※ 教科・領域に関するものは除く。)

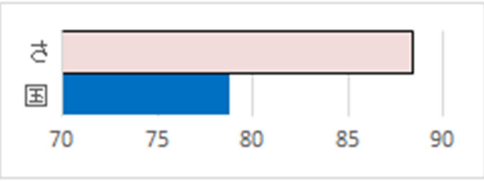
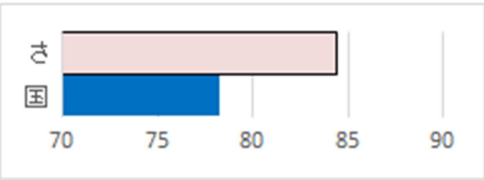
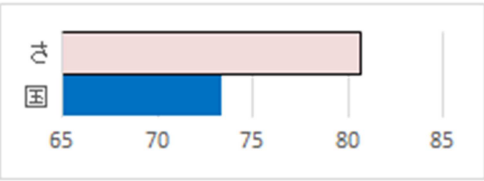
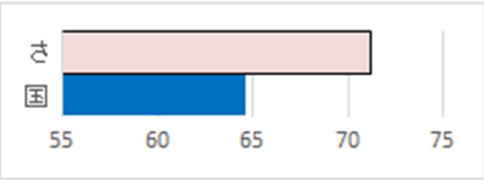
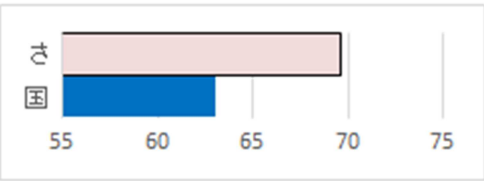
① 小学校

ア 肯定的な回答が全国値よりも良好だった項目 (±3.0以上のもの)

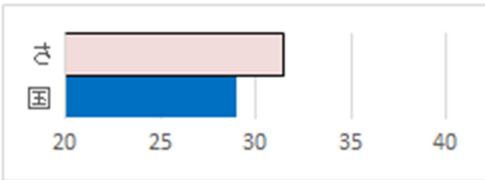
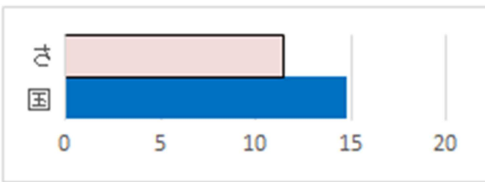
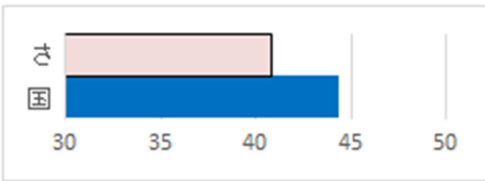
調査項目	全国平均との差	平成31年度調査でも同傾向	中学3年生でも同傾向
自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。			○
難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。		○	○
人が困っているときは、進んで助けている。			○
自分と違う意見について考えるのは楽しい。			○
家で自分で計画を立てて勉強していますか。		○ H30~31	○
平日、1日当たり1時間以上勉強している。		○	
休日、1日当たり2時間以上勉強している。			



<p>平日、1日当たり30分以上読書をしている。</p>		<p>○ H25～27 H29～31</p>	<p>○</p>
<p>家に26冊以上の本がある。 (雑誌、新聞、教科書は除く)</p>			
<p>地域や社会をよくするために何をすべきかを考えている。</p>		<p>○ H30～31</p>	
<p>5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICTを週1回以上使用した。</p>			<p>○</p>
<p>学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために週1回以上使用している。</p>		<p>○</p>	<p>○</p>
<p>5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。</p>			<p>○</p>
<p>5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っている。</p>			<p>○</p>
<p>5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっている。</p>			<p>○</p>

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。		○	○
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができた。			○
学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。			
新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができた。			○
新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていた。			○

イ 課題と思われる項目（±3. 0以上のもの）

調査項目	全国平均との差	平成31年度調査でも同傾向	中学3年生でも同傾向
平日、1日当たり2時間以上、テレビゲームをしている。			○
新聞を週1回以上読んでいる。			
学校の授業以外で、英語を使う機会がある。（地域の人や外国人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英			

語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通う等)			
新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じた。			○

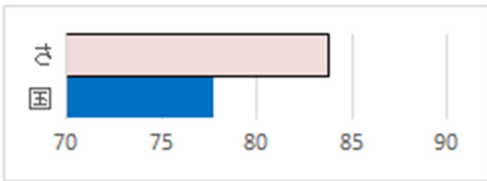
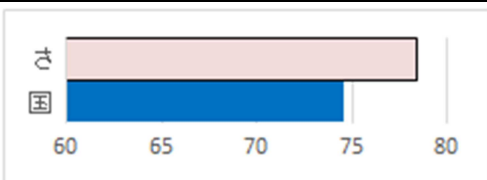
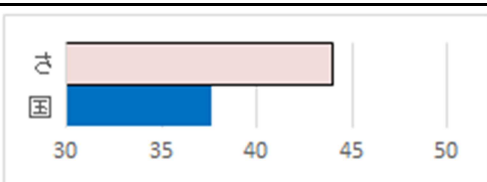
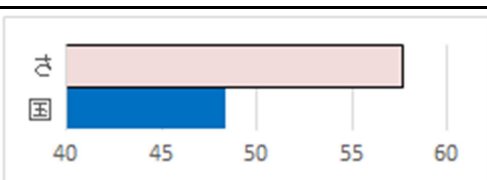
② 中学校

ア 肯定的な回答が全国値よりも良好だった項目 (±3.0以上のもの)

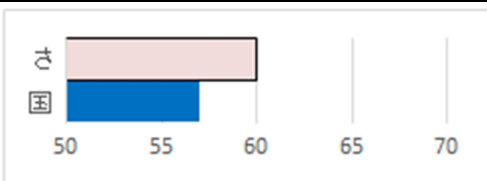
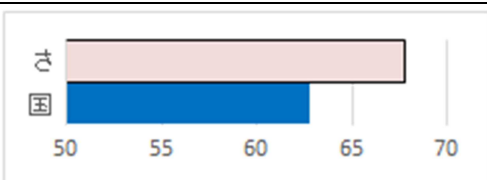
調査項目	全国平均との差	平成31年度調査でも同傾向	小学6年生でも同傾向
朝食を毎日食べている。			
毎日、同じくらいの時刻に寝ている。			
毎日、同じくらいの時刻に起きている。			
自分にはよいところがある。		○ H30~31	
将来の夢や目標を持っている。			
自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。			○

<p>難しいことでも、失敗を恐れな いで挑戦している。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>自分</th><th>国</th></tr> <tr><td>難しいことでも、失敗を恐れな いで挑戦している。</td><td>68</td><td>65</td></tr> </table>	項目	自分	国	難しいことでも、失敗を恐れな いで挑戦している。	68	65		○
項目	自分	国							
難しいことでも、失敗を恐れな いで挑戦している。	68	65							
<p>人が困っているときは、進んで 助けている。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>自分</th><th>国</th></tr> <tr><td>人が困っているときは、進んで 助けている。</td><td>92</td><td>88</td></tr> </table>	項目	自分	国	人が困っているときは、進んで 助けている。	92	88	○	○
項目	自分	国							
人が困っているときは、進んで 助けている。	92	88							
<p>人の役に立つ人間になりたい と思う。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>自分</th><th>国</th></tr> <tr><td>人の役に立つ人間になりたい と思う。</td><td>98</td><td>95</td></tr> </table>	項目	自分	国	人の役に立つ人間になりたい と思う。	98	95		
項目	自分	国							
人の役に立つ人間になりたい と思う。	98	95							
<p>学校に行くのは楽しいと思う。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>自分</th><th>国</th></tr> <tr><td>学校に行くのは楽しいと思う。</td><td>88</td><td>82</td></tr> </table>	項目	自分	国	学校に行くのは楽しいと思う。	88	82		
項目	自分	国							
学校に行くのは楽しいと思う。	88	82							
<p>自分の思っていることや感じ ていることをきちんと言葉で表 すことができる。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>自分</th><th>国</th></tr> <tr><td>自分の思っていることや感じ ていることをきちんと言葉で表 すことができる。</td><td>78</td><td>75</td></tr> </table>	項目	自分	国	自分の思っていることや感じ ていることをきちんと言葉で表 すことができる。	78	75		
項目	自分	国							
自分の思っていることや感じ ていることをきちんと言葉で表 すことができる。	78	75							
<p>自分と違う意見について考え るのは楽しいと思う。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>自分</th><th>国</th></tr> <tr><td>自分と違う意見について考え るのは楽しいと思う。</td><td>82</td><td>75</td></tr> </table>	項目	自分	国	自分と違う意見について考え るのは楽しいと思う。	82	75		○
項目	自分	国							
自分と違う意見について考え るのは楽しいと思う。	82	75							
<p>友達と協力するのは楽しいと 思う。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>自分</th><th>国</th></tr> <tr><td>友達と協力するのは楽しいと 思う。</td><td>98</td><td>92</td></tr> </table>	項目	自分	国	友達と協力するのは楽しいと 思う。	98	92		
項目	自分	国							
友達と協力するのは楽しいと 思う。	98	92							
<p>家で自分で計画を立てて勉強 している。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>自分</th><th>国</th></tr> <tr><td>家で自分で計画を立てて勉強 している。</td><td>70</td><td>63</td></tr> </table>	項目	自分	国	家で自分で計画を立てて勉強 している。	70	63		○
項目	自分	国							
家で自分で計画を立てて勉強 している。	70	63							
<p>平日、1日当たり1時間以上 読書をしている。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>自分</th><th>国</th></tr> <tr><td>平日、1日当たり1時間以上 読書をしている。</td><td>20</td><td>14</td></tr> </table>	項目	自分	国	平日、1日当たり1時間以上 読書をしている。	20	14		○
項目	自分	国							
平日、1日当たり1時間以上 読書をしている。	20	14							

<p>今住んでいる地域の行事に参加している。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>自分</th><th>国</th></tr> <tr><td>今住んでいる地域の行事に参加している</td><td>50</td><td>43</td></tr> </table>	項目	自分	国	今住んでいる地域の行事に参加している	50	43		
項目	自分	国							
今住んでいる地域の行事に参加している	50	43							
<p>2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器を週1回以上使用した。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>自分</th><th>国</th></tr> <tr><td>2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器を週1回以上使用した</td><td>45</td><td>32</td></tr> </table>	項目	自分	国	2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器を週1回以上使用した	45	32	○	○
項目	自分	国							
2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器を週1回以上使用した	45	32							
<p>学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために、週1回以上使用した。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>自分</th><th>国</th></tr> <tr><td>学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために、週1回以上使用した</td><td>55</td><td>33</td></tr> </table>	項目	自分	国	学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために、週1回以上使用した	55	33		○
項目	自分	国							
学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために、週1回以上使用した	55	33							
<p>2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかり伝えた。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>自分</th><th>国</th></tr> <tr><td>2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかり伝えた</td><td>90</td><td>83</td></tr> </table>	項目	自分	国	2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかり伝えた	90	83		
項目	自分	国							
2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかり伝えた	90	83							
<p>2年生のときに受けた授業で、自分で考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>自分</th><th>国</th></tr> <tr><td>2年生のときに受けた授業で、自分で考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している</td><td>68</td><td>62</td></tr> </table>	項目	自分	国	2年生のときに受けた授業で、自分で考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している	68	62		
項目	自分	国							
2年生のときに受けた授業で、自分で考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している	68	62							
<p>2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>自分</th><th>国</th></tr> <tr><td>2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる</td><td>88</td><td>81</td></tr> </table>	項目	自分	国	2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる	88	81		○
項目	自分	国							
2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる	88	81							
<p>2年生のときに受けた授業では、各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っている。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>自分</th><th>国</th></tr> <tr><td>2年生のときに受けた授業では、各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っている</td><td>64</td><td>59</td></tr> </table>	項目	自分	国	2年生のときに受けた授業では、各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っている	64	59		○
項目	自分	国							
2年生のときに受けた授業では、各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っている	64	59							
<p>2年生のときに受けた授業は、自分にあつた教え方、教材、学習時間などになっていた。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>自分</th><th>国</th></tr> <tr><td>2年生のときに受けた授業は、自分にあつた教え方、教材、学習時間などになっていた</td><td>82</td><td>73</td></tr> </table>	項目	自分	国	2年生のときに受けた授業は、自分にあつた教え方、教材、学習時間などになっていた	82	73		○
項目	自分	国							
2年生のときに受けた授業は、自分にあつた教え方、教材、学習時間などになっていた	82	73							

学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。			<input type="radio"/>
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができた。			<input type="radio"/>
新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができた。			<input type="radio"/>
新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていた。			<input type="radio"/>

イ 課題と思われる項目（±3.0以下のもの）

調査項目	全国平均との差	平成31年度調査でも同傾向	小学6年生でも同傾向
平日、1日当たり2時間以上、テレビゲームをしている。			<input type="radio"/>
新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じていた。			<input type="radio"/>

(8) 学習や生活状況に関する調査結果

(「全国学力・学習状況等調査」と「とちぎっ子学習状況調査」との関連)

①調査項目が同じもの

(小・中学校) 5学年ともにプラスのものは、◎、4学年でプラスのものは、○と標記。

5学年ともにマイナスのものは、▲、4学年でマイナスのものは、△と標記。

※ 平成31年度と同傾向のものは、アンダーバー ( \_ ) で表示。

調査項目	4年平均正答率 (県との差)	5年平均正答率 (県との差)	6年平均正答率 (全国との差)	中2平均正答率 (県との差)	中3平均正答率 (全国との差)	
朝食を食べている。	±0	+	+	+	+	◎
自分には、よいところがあると思う。	-	-	+	+	+	
将来の夢や目標を持っている。	-	-	+	+	+	
普段、1日1時間以上勉強している。 (小学生) 普段、1日2時間以上勉強している。(中学生)	+	+	+	-	-	
1日30分以上読書している。	+	+	+	+	+	◎
自分で計画を立てて勉強をしている。	+	+	+	-	+	○
新聞を週に1回以上読んでいます。	+	-	-	-	-	△

②関連があると思われる問題

調査項目(国) <上段> 調査項目(県) <下段>	4年平均正答率 (県との差)	5年平均正答率 (県との差)	6年平均正答率 (全国との差)	中2平均正答率 (県との差)	中3平均正答率 (全国との差)	
人の役に立つ人間になりたいと思う。(国)	/	/	+	/	+	
自分はクラスの役に立っていると思う。	+	-	/	-	/	

(9) 学力と学習や生活状況に関する調査結果の関連

① 小学校

ア 関連が強いと思われるもの

「当てはまる」と答えた児童の正答率 — 「当てはまらない」と答えた児童の正答率で差が著しかったもの。(国語、算数の2種目の平均)

※ 教科の内容、調査問題についての質問は除く。

1	平日、1日当たりどのくらい勉強しますか。(学習習慣) ※休日の学習時間も関連性が高い。
2	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。(基本的な生活習慣)
3	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。(自己有用感) H30～31も関連性が高い。
4	人が困っているときは、進んで助けていますか。(親切心)
5	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。(規範意識)

イ 関連があまりないと思われるもの

「当てはまる」と答えた児童の正答率 — 「当てはまらない」と答えた児童の正答率で差が著しかったもの。(2種目の平均)

※ 教科の内容、調査問題についての質問は除く。

	調査項目
1	普段、1日当たりどのくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか。
2	新型コロナウイルス感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか。
3	新聞を読んでいますか。
4	友達と協力するのは楽しいですか。
5	新型コロナウイルス感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか。

小学校では自己有用感が高いことや基本的な学習・生活習慣が整っていること、親切心をもっていること、規範意識が高いことなどが学力との関連が高い。

しかし、ICT機器の使用や新聞を読むこと、友達との協力などは、学力との関連が低い。また、新型コロナウイルス感染症の影響も学力には大きな関連性が見られない。



② 中学校

ア 関連が強いと思われるもの

「当てはまる」と答えた児童の正答率 — 「当てはまらない」と答えた児童の正答率で差が著しかったもの。(3種目の平均)

※ 教科の内容、調査問題についての質問は除く。

	調査項目
1	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。(基本的な生活習慣)
2	人が困っているときは、進んで助けていますか。(親切心) H31も関連性が高い。
3	平日、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしていますか。(基本的な生活習慣)
4	平日、1日当たりどのくらい勉強をしますか。(学習習慣) ※休日の学習時間も関連性が高い。
5	自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか。(やりぬく力)

イ 関連があまりないと思われるもの

「当てはまる」と答えた児童の正答率 — 「当てはまらない」と答えた児童の正答率で差が著しかったもの。(3種目の平均)

	調査項目
1	普段、1日当たりどのくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか。
2	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。
3	友達と協力するのは楽しいと思いますか。
4	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
5	今住んでいる地域の行事に参加していますか。

中学校では、基本的な学習・生活習慣が身につけていることや親切心をもっていること、やりぬく力が高いことなどが学力との関連が高い。しかし、ICTの活用や友達との協力などは、学力との関連が低い。

(10) 学校質問紙の結果

さくら市の「よく行った」+「どちらかといえば、行った」数字 と  
 全国の「よく行った」+「どちらかといえば、行った」数字 の比較

① 小学校

ア 教科指導

(ア) 国語の指導方法

<p>国語の指導として、補充的な学習の指導を行いましたか。</p>	<p>A horizontal bar chart comparing Saitama City (blue bar) and National (pink bar) for 'Supplementary learning guidance'. The x-axis ranges from 70 to 90. The National bar is at approximately 83, and the Saitama City bar is at approximately 85.</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国 (National)</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>さ (Saitama City)</td> <td>85</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	国 (National)	83	さ (Saitama City)	85
Category	Percentage						
国 (National)	83						
さ (Saitama City)	85						
<p>国語の指導として、発展的な学習の指導を行いましたか。</p>	<p>A horizontal bar chart comparing Saitama City (blue bar) and National (pink bar) for 'Developmental learning guidance'. The x-axis ranges from 50 to 100. The National bar is at approximately 98, and the Saitama City bar is at approximately 55.</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国 (National)</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>さ (Saitama City)</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	国 (National)	98	さ (Saitama City)	55
Category	Percentage						
国 (National)	98						
さ (Saitama City)	55						
<p>国語の指導として、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりする授業を行いましたか。</p>	<p>A horizontal bar chart comparing Saitama City (blue bar) and National (pink bar) for 'Understanding and using language features'. The x-axis ranges from 80 to 100. The National bar is at approximately 98, and the Saitama City bar is at approximately 92.</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国 (National)</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>さ (Saitama City)</td> <td>92</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	国 (National)	98	さ (Saitama City)	92
Category	Percentage						
国 (National)	98						
さ (Saitama City)	92						
<p>国語の指導として、目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする授業を行いましたか。</p>	<p>A horizontal bar chart comparing Saitama City (blue bar) and National (pink bar) for 'Speaking and questioning based on purpose'. The x-axis ranges from 80 to 100. The National bar is at approximately 98, and the Saitama City bar is at approximately 93.</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国 (National)</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>さ (Saitama City)</td> <td>93</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	国 (National)	98	さ (Saitama City)	93
Category	Percentage						
国 (National)	98						
さ (Saitama City)	93						
<p>国語の指導として、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして書いたり、書き表し方を工夫したりする授業を行いましたか。</p>	<p>A horizontal bar chart comparing Saitama City (blue bar) and National (pink bar) for 'Clarifying relationships and improving writing'. The x-axis ranges from 80 to 100. The National bar is at approximately 98, and the Saitama City bar is at approximately 90.</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国 (National)</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>さ (Saitama City)</td> <td>90</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	国 (National)	98	さ (Saitama City)	90
Category	Percentage						
国 (National)	98						
さ (Saitama City)	90						
<p>国語の指導として、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり自分の考えを広げたりする授業を行いましたか。</p>	<p>A horizontal bar chart comparing Saitama City (blue bar) and National (pink bar) for 'Reading and expanding thoughts'. The x-axis ranges from 80 to 100. The National bar is at approximately 98, and the Saitama City bar is at approximately 94.</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国 (National)</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>さ (Saitama City)</td> <td>94</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	国 (National)	98	さ (Saitama City)	94
Category	Percentage						
国 (National)	98						
さ (Saitama City)	94						

(イ) 算数の指導法

算数の指導として、補充的な学習の指導を行いましたか。	<table border="1"> <tr><th>指導者</th><th>割合</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>94</td></tr> </table>	指導者	割合	さ	98	国	94
指導者	割合						
さ	98						
国	94						
算数の指導として、発展的な学習の指導を行いましたか。	<table border="1"> <tr><th>指導者</th><th>割合</th></tr> <tr><td>さ</td><td>83</td></tr> <tr><td>国</td><td>65</td></tr> </table>	指導者	割合	さ	83	国	65
指導者	割合						
さ	83						
国	65						
算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか。	<table border="1"> <tr><th>指導者</th><th>割合</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>82</td></tr> </table>	指導者	割合	さ	98	国	82
指導者	割合						
さ	98						
国	82						
算数の指導として、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をする活動を行いましたか。	<table border="1"> <tr><th>指導者</th><th>割合</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>92</td></tr> </table>	指導者	割合	さ	98	国	92
指導者	割合						
さ	98						
国	92						
算数の指導として、公式やきまり、計算の仕方などを指導するとき、児童がそのわけを理解できるように工夫していましたか。	<table border="1"> <tr><th>指導者</th><th>割合</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>96</td></tr> </table>	指導者	割合	さ	98	国	96
指導者	割合						
さ	98						
国	96						
算数の指導として、問題の解き方や考え方の過程が分かるように工夫してノートを書く指導を行いましたか。	<table border="1"> <tr><th>指導者</th><th>割合</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>93</td></tr> </table>	指導者	割合	さ	98	国	93
指導者	割合						
さ	98						
国	93						

(ウ) 英語の指導法

授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合う（対話的な）活動に取り組みましたか	<table border="1"> <tr><th>指導者</th><th>割合</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>93</td></tr> </table>	指導者	割合	さ	98	国	93
指導者	割合						
さ	98						
国	93						
学校としての外国語教育の充実に取り組む上で、必要な情報や研修、自己研鑽の機会などを十分に設けていますか。	<table border="1"> <tr><th>指導者</th><th>割合</th></tr> <tr><td>さ</td><td>67</td></tr> <tr><td>国</td><td>63</td></tr> </table>	指導者	割合	さ	67	国	63
指導者	割合						
さ	67						
国	63						

## イ 授業改善

<p>教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>50</td></tr> <tr><td>国</td><td>75</td></tr> </table>	項目	値	さ	50	国	75
項目	値						
さ	50						
国	75						
<p>授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>85</td></tr> <tr><td>国</td><td>85</td></tr> </table>	項目	値	さ	85	国	85
項目	値						
さ	85						
国	85						
<p>授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>85</td></tr> <tr><td>国</td><td>70</td></tr> </table>	項目	値	さ	85	国	70
項目	値						
さ	85						
国	70						
<p>学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>85</td></tr> <tr><td>国</td><td>80</td></tr> </table>	項目	値	さ	85	国	80
項目	値						
さ	85						
国	80						
<p>学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>85</td></tr> <tr><td>国</td><td>75</td></tr> </table>	項目	値	さ	85	国	75
項目	値						
さ	85						
国	75						
<p>学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>90</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	90
項目	値						
さ	100						
国	90						
<p>前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>85</td></tr> <tr><td>国</td><td>85</td></tr> </table>	項目	値	さ	85	国	85
項目	値						
さ	85						
国	85						
<p>前年度までに、児童の発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>95</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	95
項目	値						
さ	100						
国	95						
<p>前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>85</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	85
項目	値						
さ	100						
国	85						

<p>各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>さ</th><th>国</th></tr> <tr><td>各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか。</td><td>100</td><td>82</td></tr> </table>	項目	さ	国	各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか。	100	82
項目	さ	国					
各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか。	100	82					
<p>知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習を、計画的に取り入れましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>さ</th><th>国</th></tr> <tr><td>知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習を、計画的に取り入れましたか。</td><td>85</td><td>72</td></tr> </table>	項目	さ	国	知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習を、計画的に取り入れましたか。	85	72
項目	さ	国					
知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習を、計画的に取り入れましたか。	85	72					
<p>各教科等の授業などで、調べたことや考えたことを800字程度で児童にまとめさせたことがありましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>さ</th><th>国</th></tr> <tr><td>各教科等の授業などで、調べたことや考えたことを800字程度で児童にまとめさせたことがありましたか。</td><td>35</td><td>55</td></tr> </table>	項目	さ	国	各教科等の授業などで、調べたことや考えたことを800字程度で児童にまとめさせたことがありましたか。	35	55
項目	さ	国					
各教科等の授業などで、調べたことや考えたことを800字程度で児童にまとめさせたことがありましたか。	35	55					
<p>本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行いましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>さ</th><th>国</th></tr> <tr><td>本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行いましたか。</td><td>65</td><td>70</td></tr> </table>	項目	さ	国	本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行いましたか。	65	70
項目	さ	国					
本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行いましたか。	65	70					
<p>総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>さ</th><th>国</th></tr> <tr><td>総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか。</td><td>100</td><td>90</td></tr> </table>	項目	さ	国	総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか。	100	90
項目	さ	国					
総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか。	100	90					
<p>学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行っていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>さ</th><th>国</th></tr> <tr><td>学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行っていますか。</td><td>100</td><td>95</td></tr> </table>	項目	さ	国	学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行っていますか。	100	95
項目	さ	国					
学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行っていますか。	100	95					
<p>学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童が意思決定できるような指導を行っていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>さ</th><th>国</th></tr> <tr><td>学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童が意思決定できるような指導を行っていますか。</td><td>100</td><td>93</td></tr> </table>	項目	さ	国	学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童が意思決定できるような指導を行っていますか。	100	93
項目	さ	国					
学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童が意思決定できるような指導を行っていますか。	100	93					
<p>特別の教科 道徳において、児童自ら自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>さ</th><th>国</th></tr> <tr><td>特別の教科 道徳において、児童自ら自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか。</td><td>100</td><td>97</td></tr> </table>	項目	さ	国	特別の教科 道徳において、児童自ら自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか。	100	97
項目	さ	国					
特別の教科 道徳において、児童自ら自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか。	100	97					
<p>児童の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かすことを心がけましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>さ</th><th>国</th></tr> <tr><td>児童の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かすことを心がけましたか。</td><td>100</td><td>96</td></tr> </table>	項目	さ	国	児童の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かすことを心がけましたか。	100	96
項目	さ	国					
児童の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かすことを心がけましたか。	100	96					

<p>児童のよい点や改善点などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにしましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>さ</th><th>国</th></tr> <tr><td>児童のよい点や改善点などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにしましたか。</td><td>98</td><td>95</td></tr> </table>	項目	さ	国	児童のよい点や改善点などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにしましたか。	98	95
項目	さ	国					
児童のよい点や改善点などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにしましたか。	98	95					
<p>創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科部会等の校内組織の活用など、組織的かつ計画的な取組をしましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>さ</th><th>国</th></tr> <tr><td>創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科部会等の校内組織の活用など、組織的かつ計画的な取組をしましたか。</td><td>85</td><td>83</td></tr> </table>	項目	さ	国	創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科部会等の校内組織の活用など、組織的かつ計画的な取組をしましたか。	85	83
項目	さ	国					
創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科部会等の校内組織の活用など、組織的かつ計画的な取組をしましたか。	85	83					
<p>授業の中で目標（めあて・ねらい）を児童に示し、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>さ</th><th>国</th></tr> <tr><td>授業の中で目標（めあて・ねらい）を児童に示し、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか。</td><td>98</td><td>95</td></tr> </table>	項目	さ	国	授業の中で目標（めあて・ねらい）を児童に示し、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか。	98	95
項目	さ	国					
授業の中で目標（めあて・ねらい）を児童に示し、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか。	98	95					

#### ウ 児童指導・特別支援教育

<p>授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>さ</th><th>国</th></tr> <tr><td>授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか。</td><td>82</td><td>88</td></tr> </table>	項目	さ	国	授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか。	82	88
項目	さ	国					
授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか。	82	88					
<p>将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>さ</th><th>国</th></tr> <tr><td>将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか。</td><td>50</td><td>85</td></tr> </table>	項目	さ	国	将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか。	50	85
項目	さ	国					
将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか。	50	85					
<p>学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>さ</th><th>国</th></tr> <tr><td>学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか。</td><td>82</td><td>95</td></tr> </table>	項目	さ	国	学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか。	82	95
項目	さ	国					
学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか。	82	95					
<p>学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>さ</th><th>国</th></tr> <tr><td>学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか。</td><td>98</td><td>95</td></tr> </table>	項目	さ	国	学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか。	98	95
項目	さ	国					
学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか。	98	95					
<p>学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組みをどの程度行いましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>さ</th><th>国</th></tr> <tr><td>学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組みをどの程度行いましたか。</td><td>98</td><td>95</td></tr> </table>	項目	さ	国	学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組みをどの程度行いましたか。	98	95
項目	さ	国					
学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組みをどの程度行いましたか。	98	95					

<p>学校の教員は、特別支援教育について理解し、授業の中で、児童の特性に応じた指導上の工夫を行いましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>94</td></tr> </table>	項目	値	さ	98	国	94
項目	値						
さ	98						
国	94						

## エ 学校経営

<p>教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>83</td></tr> <tr><td>国</td><td>84</td></tr> </table>	項目	値	さ	83	国	84
項目	値						
さ	83						
国	84						
<p>学校として、必要な場合に、変化に柔軟に対応していますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>98</td></tr> </table>	項目	値	さ	98	国	98
項目	値						
さ	98						
国	98						
<p>学校として、業務改善に取り組んでいますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>96</td></tr> </table>	項目	値	さ	98	国	96
項目	値						
さ	98						
国	96						
<p>学級経営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>96</td></tr> </table>	項目	値	さ	98	国	96
項目	値						
さ	98						
国	96						
<p>指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>94</td></tr> </table>	項目	値	さ	98	国	94
項目	値						
さ	98						
国	94						
<p>児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>93</td></tr> </table>	項目	値	さ	98	国	93
項目	値						
さ	98						
国	93						
<p>指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>94</td></tr> </table>	項目	値	さ	98	国	94
項目	値						
さ	98						
国	94						

<p>言語活動について、国語科だけでなく、各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>95</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	95
項目	値						
さ	100						
国	95						

**オ 教職員の資質能力の向上**

<p>校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>95</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	95
項目	値						
さ	100						
国	95						
<p>授業研究や事例研究など、実践的な研修を行いますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>95</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	95
項目	値						
さ	100						
国	95						
<p>児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>80</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	80
項目	値						
さ	100						
国	80						
<p>個々の教員が、自ら専門性を高めていこうとする教科・領域等を決めており、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>75</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	75
項目	値						
さ	100						
国	75						
<p>教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>85</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	85
項目	値						
さ	100						
国	85						
<p>学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>95</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	95
項目	値						
さ	100						
国	95						
<p>学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>85</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	85
項目	値						
さ	100						
国	85						



## カ ICTの活用

<p>コンピュータなどのICT機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>90</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	90
項目	値						
さ	100						
国	90						
<p>コンピュータなどのICT機器やネットワークの点から、遠隔・オンライン授業を行うための準備ができていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>40</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	40
項目	値						
さ	100						
国	40						
<p>コンピュータなどのICT機器やネットワークの点から、校務改善を行うための準備ができていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>75</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	75
項目	値						
さ	100						
国	75						
<p>教員が大型提示装置などのICT機器を活用した授業を1クラス当たり、毎日行いましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>55</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	55
項目	値						
さ	100						
国	55						
<p>教員は、学習履歴（スタディ・ログ）をはじめとした様々な教育データを、児童の状況に応じた指導に活用していますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>50</td></tr> <tr><td>国</td><td>45</td></tr> </table>	項目	値	さ	50	国	45
項目	値						
さ	50						
国	45						
<p>教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修会がありますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>85</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	85
項目	値						
さ	100						
国	85						
<p>コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校に十分な知識をもった専門スタッフがいるなど技術的にサポートできる体制がありますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>55</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	55
項目	値						
さ	100						
国	55						
<p>教職員間の連絡として、コンピュータなどのICT機器を活用した取組を行っていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>85</td></tr> <tr><td>国</td><td>78</td></tr> </table>	項目	値	さ	85	国	78
項目	値						
さ	85						
国	78						
<p>教職員と児童がやりとりする場面で、コンピュータなどのICT機器を活用した取組を行っていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>68</td></tr> <tr><td>国</td><td>45</td></tr> </table>	項目	値	さ	68	国	45
項目	値						
さ	68						
国	45						

<p>児童同士がやりとりする場面で、コンピュータなどのICT機器を活用した取組を行っていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>50</td></tr> <tr><td>国</td><td>30</td></tr> </table>	項目	値	さ	50	国	30
項目	値						
さ	50						
国	30						
<p>教職員と家庭の連絡として、コンピュータなどのICT機器を活用した取組を行っていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>35</td></tr> <tr><td>国</td><td>40</td></tr> </table>	項目	値	さ	35	国	40
項目	値						
さ	35						
国	40						
<p>児童が1人で活用する場面で、コンピュータなどのICT機器を活用した取組を行っていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>75</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	75
項目	値						
さ	100						
国	75						
<p>児童一人一人に配備されたPC・タブレット等の端末を利用していますか。(時々以上)</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>65</td></tr> <tr><td>国</td><td>20</td></tr> </table>	項目	値	さ	65	国	20
項目	値						
さ	65						
国	20						

## キ 小中連携

<p>近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>85</td></tr> <tr><td>国</td><td>60</td></tr> </table>	項目	値	さ	85	国	60
項目	値						
さ	85						
国	60						
<p>近隣等の中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>85</td></tr> <tr><td>国</td><td>60</td></tr> </table>	項目	値	さ	85	国	60
項目	値						
さ	85						
国	60						
<p>全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有しましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>65</td></tr> <tr><td>国</td><td>45</td></tr> </table>	項目	値	さ	65	国	45
項目	値						
さ	65						
国	45						

## ク 家庭や地域との連携

<p>職場見学や職場体験活動を行っていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>45</td></tr> <tr><td>国</td><td>45</td></tr> </table>	項目	値	さ	45	国	45
項目	値						
さ	45						
国	45						

<p>教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>Category</th><th>Value</th></tr> <tr><td>さ</td><td>65</td></tr> <tr><td>国</td><td>85</td></tr> </table>	Category	Value	さ	65	国	85
Category	Value						
さ	65						
国	85						
<p>保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>Category</th><th>Value</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>95</td></tr> </table>	Category	Value	さ	100	国	95
Category	Value						
さ	100						
国	95						
<p>地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>Category</th><th>Value</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>70</td></tr> </table>	Category	Value	さ	100	国	70
Category	Value						
さ	100						
国	70						
<p>保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>Category</th><th>Value</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>95</td></tr> </table>	Category	Value	さ	100	国	95
Category	Value						
さ	100						
国	95						

## ケ 家庭学習

<p>家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>Category</th><th>Value</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>90</td></tr> </table>	Category	Value	さ	100	国	90
Category	Value						
さ	100						
国	90						
<p>家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>Category</th><th>Value</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>95</td></tr> </table>	Category	Value	さ	100	国	95
Category	Value						
さ	100						
国	95						
<p>家庭学習の取組として、学校では、児童が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かしましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>Category</th><th>Value</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>90</td></tr> </table>	Category	Value	さ	100	国	90
Category	Value						
さ	100						
国	90						

## コ 全国学力・学習状況調査の活用

<p>全国学力・学習状況調査の問題を活用している。</p>	<table border="1"> <tr><th>Category</th><th>Value</th></tr> <tr><td>さ</td><td>70</td></tr> <tr><td>国</td><td>65</td></tr> </table>	Category	Value	さ	70	国	65
Category	Value						
さ	70						
国	65						

<p>全国学力・学習状況調査の自校の結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>はい</td><td>98</td></tr> <tr><td>いいえ</td><td>92</td></tr> </table>	回答	割合	はい	98	いいえ	92
回答	割合						
はい	98						
いいえ	92						
<p>全国学力・学習状況調査の結果を、教育活動の改善のために活用していますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>はい</td><td>76</td></tr> <tr><td>いいえ</td><td>70</td></tr> </table>	回答	割合	はい	76	いいえ	70
回答	割合						
はい	76						
いいえ	70						
<p>全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>はい</td><td>98</td></tr> <tr><td>いいえ</td><td>90</td></tr> </table>	回答	割合	はい	98	いいえ	90
回答	割合						
はい	98						
いいえ	90						

## サ 新型コロナウイルス感染症の影響

<p>一斉休校の期間、I C T機器を用いた学習を課していましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>はい</td><td>55</td></tr> <tr><td>いいえ</td><td>25</td></tr> </table>	回答	割合	はい	55	いいえ	25
回答	割合						
はい	55						
いいえ	25						
<p>一斉休校の期間、I C T環境がない家庭の児童に対して特に支援は行わなかった。</p>	<table border="1"> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>はい</td><td>32</td></tr> <tr><td>いいえ</td><td>45</td></tr> </table>	回答	割合	はい	32	いいえ	45
回答	割合						
はい	32						
いいえ	45						
<p>新型コロナウイルス感染症の影響前と現在を比較して、教員の業務量は増えましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>はい</td><td>85</td></tr> <tr><td>いいえ</td><td>78</td></tr> </table>	回答	割合	はい	85	いいえ	78
回答	割合						
はい	85						
いいえ	78						

「教科指導」、「学校経営」、「教員の資質向上」、「I C T機器の活用」、「小中連携」、「家庭学習」、「全国学力・学習状況調査の活用」、「一斉休校時における支援」においては、よく行われていると回答している。

「授業改善」や「児童指導」、「地域や家庭との連携」については、課題が見られる回答した項目もある。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で教員の業務量が増えたと回答している。

② 中学校

ア 教科指導

(ア) 国語の指導方法

<p>国語の指導として、補充的な学習の指導を行いましたか。</p>	<table border="1"> <tr> <th>回答</th> <th>割合 (%)</th> </tr> <tr> <td>さ (Yes)</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>国 (No)</td> <td>85</td> </tr> </table>	回答	割合 (%)	さ (Yes)	50	国 (No)	85
回答	割合 (%)						
さ (Yes)	50						
国 (No)	85						
<p>国語の指導として、発展的な学習の指導を行いましたか。</p>	<table border="1"> <tr> <th>回答</th> <th>割合 (%)</th> </tr> <tr> <td>さ (Yes)</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>国 (No)</td> <td>72</td> </tr> </table>	回答	割合 (%)	さ (Yes)	100	国 (No)	72
回答	割合 (%)						
さ (Yes)	100						
国 (No)	72						
<p>国語の指導として、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりする授業を行いましたか。</p>	<table border="1"> <tr> <th>回答</th> <th>割合 (%)</th> </tr> <tr> <td>さ (Yes)</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>国 (No)</td> <td>95</td> </tr> </table>	回答	割合 (%)	さ (Yes)	100	国 (No)	95
回答	割合 (%)						
さ (Yes)	100						
国 (No)	95						
<p>国語の指導として、目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする授業を行いましたか。</p>	<table border="1"> <tr> <th>回答</th> <th>割合 (%)</th> </tr> <tr> <td>さ (Yes)</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>国 (No)</td> <td>88</td> </tr> </table>	回答	割合 (%)	さ (Yes)	100	国 (No)	88
回答	割合 (%)						
さ (Yes)	100						
国 (No)	88						
<p>国語の指導として、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり、表現を工夫して書いたりする授業を行いましたか。</p>	<table border="1"> <tr> <th>回答</th> <th>割合 (%)</th> </tr> <tr> <td>さ (Yes)</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>国 (No)</td> <td>95</td> </tr> </table>	回答	割合 (%)	さ (Yes)	100	国 (No)	95
回答	割合 (%)						
さ (Yes)	100						
国 (No)	95						
<p>国語の指導として、目的に応じて文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりする授業を行いましたか。</p>	<table border="1"> <tr> <th>回答</th> <th>割合 (%)</th> </tr> <tr> <td>さ (Yes)</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>国 (No)</td> <td>93</td> </tr> </table>	回答	割合 (%)	さ (Yes)	100	国 (No)	93
回答	割合 (%)						
さ (Yes)	100						
国 (No)	93						

(イ) 数学の指導法

<p>数学の指導として、補充的な学習の指導を行いましたか。</p>	<table border="1"> <tr> <th>回答</th> <th>割合 (%)</th> </tr> <tr> <td>さ (Yes)</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>国 (No)</td> <td>93</td> </tr> </table>	回答	割合 (%)	さ (Yes)	100	国 (No)	93
回答	割合 (%)						
さ (Yes)	100						
国 (No)	93						
<p>数学の指導として、発展的な学習の指導を行いましたか。</p>	<table border="1"> <tr> <th>回答</th> <th>割合 (%)</th> </tr> <tr> <td>さ (Yes)</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>国 (No)</td> <td>75</td> </tr> </table>	回答	割合 (%)	さ (Yes)	100	国 (No)	75
回答	割合 (%)						
さ (Yes)	100						
国 (No)	75						

<p>数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>78</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	78
項目	値						
さ	100						
国	78						
<p>数学の指導として、観察や操作、実験などの活動を通して、数量や図形などの性質を見いだす活動を行いましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>75</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	75
項目	値						
さ	100						
国	75						
<p>数学の指導として、公式やきまりなどを指導するとき、生徒がその根拠を理解できるように工夫していましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>95</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	95
項目	値						
さ	100						
国	95						
<p>数学の指導として、問題の解き方や考え方の過程が分かるように工夫してノートを書く指導を行いましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>88</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	88
項目	値						
さ	100						
国	88						

(ウ) 英語の指導法

<p>英語で話したり書いたりして、生徒自身が互いの考えや気持ちを伝え合う（対話的な）活動に取り組みましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>92</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	92
項目	値						
さ	100						
国	92						

(エ) 学習評価の改善

<p>全国学力・学習状況調査の調査問題や結果を踏まえて、言語活動の充実などの授業改善や、定期考査問題やパフォーマンステストの改善などの学習評価の改善に取り組んでいますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>88</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	88
項目	値						
さ	100						
国	88						

イ 授業改善

<p>教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>80</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	80
項目	値						
さ	100						
国	80						
<p>授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>85</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	85
項目	値						
さ	100						
国	85						

<p>授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>75</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	75
項目	値						
さ	100						
国	75						
<p>学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>85</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	85
項目	値						
さ	100						
国	85						
<p>学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>85</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	85
項目	値						
さ	100						
国	85						
<p>学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>95</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	95
項目	値						
さ	100						
国	95						
<p>前年度までに、授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>85</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	85
項目	値						
さ	100						
国	85						
<p>前年度までに、生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>95</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	95
項目	値						
さ	100						
国	95						
<p>前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>85</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	85
項目	値						
さ	100						
国	85						
<p>各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>75</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	75
項目	値						
さ	100						
国	75						
<p>知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習を、計画的に取り入れましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>70</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	70
項目	値						
さ	100						
国	70						

<p>各教科等の授業などで、調べたことや考えたことを1200字程度で生徒にまとめさせたことがありましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>50</td></tr> <tr><td>国</td><td>40</td></tr> </table>	項目	値	さ	50	国	40
項目	値						
さ	50						
国	40						
<p>本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行いましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>50</td></tr> <tr><td>国</td><td>40</td></tr> </table>	項目	値	さ	50	国	40
項目	値						
さ	50						
国	40						
<p>総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>88</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	88
項目	値						
さ	100						
国	88						
<p>学究生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行っていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>95</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	95
項目	値						
さ	100						
国	95						
<p>学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の生徒が意思決定できるような指導を行っていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>92</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	92
項目	値						
さ	100						
国	92						
<p>特別の教科 道徳において、生徒自ら自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>98</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	98
項目	値						
さ	100						
国	98						
<p>生徒の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かすことを心がけましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>95</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	95
項目	値						
さ	100						
国	95						
<p>生徒のよい点や改善点などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにしましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>95</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	95
項目	値						
さ	100						
国	95						
<p>創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科部会等の校内組織の活用など、組織的かつ計画的な取組をしましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>50</td></tr> <tr><td>国</td><td>88</td></tr> </table>	項目	値	さ	50	国	88
項目	値						
さ	50						
国	88						



<p>授業の中で目標（めあて・ねらい）を児童に示し、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>95</td></tr> </table>	項目	値	さ	98	国	95
項目	値						
さ	98						
国	95						

ウ 生徒指導・特別支援教育

<p>授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>95</td></tr> </table>	項目	値	さ	98	国	95
項目	値						
さ	98						
国	95						
<p>将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>95</td></tr> </table>	項目	値	さ	98	国	95
項目	値						
さ	98						
国	95						
<p>学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>92</td></tr> </table>	項目	値	さ	98	国	92
項目	値						
さ	98						
国	92						
<p>学習規律（他の人が話をしている時はしっかりと聞く、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>95</td></tr> </table>	項目	値	さ	98	国	95
項目	値						
さ	98						
国	95						
<p>学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組みをどの程度行いましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>95</td></tr> </table>	項目	値	さ	98	国	95
項目	値						
さ	98						
国	95						
<p>学校の教員は、特別支援教育について理解し、授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫を行いましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>92</td></tr> </table>	項目	値	さ	98	国	92
項目	値						
さ	98						
国	92						

エ 学校経営

<p>教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>50</td></tr> <tr><td>国</td><td>68</td></tr> </table>	項目	値	さ	50	国	68
項目	値						
さ	50						
国	68						

<p>学校として、必要な場合に、変化に柔軟に対応していますか。</p>	<p>A horizontal bar chart with a scale from 80 to 100. The 'さ' bar (pink) is at 100. The '国' bar (blue) is at approximately 98.</p>
<p>学校として、業務改善に取り組んでいますか。</p>	<p>A horizontal bar chart with a scale from 80 to 100. The 'さ' bar (pink) is at 100. The '国' bar (blue) is at approximately 96.</p>
<p>学級経営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか。</p>	<p>A horizontal bar chart with a scale from 80 to 100. The 'さ' bar (pink) is at 100. The '国' bar (blue) is at approximately 97.</p>
<p>指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか。</p>	<p>A horizontal bar chart with a scale from 80 to 100. The 'さ' bar (pink) is at 100. The '国' bar (blue) is at approximately 90.</p>
<p>生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか。</p>	<p>A horizontal bar chart with a scale from 80 to 100. The 'さ' bar (pink) is at 100. The '国' bar (blue) is at approximately 93.</p>
<p>指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか。</p>	<p>A horizontal bar chart with a scale from 80 to 100. The 'さ' bar (pink) is at 100. The '国' bar (blue) is at approximately 84.</p>
<p>言語活動について、国語科だけでなく、各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか。</p>	<p>A horizontal bar chart with a scale from 80 to 100. The 'さ' bar (pink) is at 100. The '国' bar (blue) is at approximately 94.</p>

## オ 教職員の資質能力の向上

<p>校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか。</p>	<p>A horizontal bar chart with a scale from 80 to 100. The 'さ' bar (pink) is at 100. The '国' bar (blue) is at approximately 97.</p>
-------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>授業研究や事例研究など、実践的な研修を行いますか。</p>	<p>A horizontal bar chart with two bars. The x-axis ranges from 80 to 100. The 'さ' bar (pink) is at approximately 98. The '国' bar (blue) is at approximately 93.</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>93</td></tr> </table>	項目	値	さ	98	国	93
項目	値						
さ	98						
国	93						
<p>児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか。</p>	<p>A horizontal bar chart with two bars. The x-axis ranges from 40 to 80. The 'さ' bar (pink) is at approximately 50. The '国' bar (blue) is at approximately 78.</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>50</td></tr> <tr><td>国</td><td>78</td></tr> </table>	項目	値	さ	50	国	78
項目	値						
さ	50						
国	78						
<p>個々の教員が、自ら専門性を高めていこうとする教科・領域等を決めており、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか。</p>	<p>A horizontal bar chart with two bars. The x-axis ranges from 70 to 100. The 'さ' bar (pink) is at approximately 98. The '国' bar (blue) is at approximately 75.</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>75</td></tr> </table>	項目	値	さ	98	国	75
項目	値						
さ	98						
国	75						
<p>教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか。</p>	<p>A horizontal bar chart with two bars. The x-axis ranges from 80 to 100. The 'さ' bar (pink) is at approximately 98. The '国' bar (blue) is at approximately 83.</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>83</td></tr> </table>	項目	値	さ	98	国	83
項目	値						
さ	98						
国	83						
<p>学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか。</p>	<p>A horizontal bar chart with two bars. The x-axis ranges from 80 to 100. The 'さ' bar (pink) is at approximately 98. The '国' bar (blue) is at approximately 95.</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>95</td></tr> </table>	項目	値	さ	98	国	95
項目	値						
さ	98						
国	95						
<p>学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか。</p>	<p>A horizontal bar chart with two bars. The x-axis ranges from 70 to 100. The 'さ' bar (pink) is at approximately 98. The '国' bar (blue) is at approximately 80.</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>80</td></tr> </table>	項目	値	さ	98	国	80
項目	値						
さ	98						
国	80						

## カ ICTの活用

<p>コンピュータなどのICT機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができていますか。</p>	<p>A horizontal bar chart with two bars. The x-axis ranges from 80 to 100. The 'さ' bar (pink) is at approximately 98. The '国' bar (blue) is at approximately 88.</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>88</td></tr> </table>	項目	値	さ	98	国	88
項目	値						
さ	98						
国	88						
<p>コンピュータなどのICT機器やネットワークの点から、遠隔・オンライン授業を行うための準備ができていますか。</p>	<p>A horizontal bar chart with two bars. The x-axis ranges from 30 to 100. The 'さ' bar (pink) is at approximately 98. The '国' bar (blue) is at approximately 38.</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>38</td></tr> </table>	項目	値	さ	98	国	38
項目	値						
さ	98						
国	38						
<p>コンピュータなどのICT機器やネットワークの点から、校務改善を行うための準備ができていますか。</p>	<p>A horizontal bar chart with two bars. The x-axis ranges from 60 to 100. The 'さ' bar (pink) is at approximately 98. The '国' bar (blue) is at approximately 72.</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>72</td></tr> </table>	項目	値	さ	98	国	72
項目	値						
さ	98						
国	72						

<p>教員が大型提示装置などの I C T 機器を活用した授業を 1 クラス当たり、週 1 回以上行いましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>88</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	88
項目	値						
さ	100						
国	88						
<p>教員は、学習履歴（スタディ・ログ）をはじめとした様々な教育データを、生徒の状況に応じた指導に活用していますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>50</td></tr> <tr><td>国</td><td>38</td></tr> </table>	項目	値	さ	50	国	38
項目	値						
さ	50						
国	38						
<p>教員がコンピュータなどの I C T 機器の使い方を学ぶために必要な研修会がありますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>78</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	78
項目	値						
さ	100						
国	78						
<p>コンピュータなどの I C T 機器の活用に関して、学校に十分な知識をもった専門スタッフがいるなど技術的にサポートできる体制がありますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>52</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	52
項目	値						
さ	100						
国	52						
<p>教職員間の連絡として、コンピュータなどの I C T 機器を活用した取組を行っていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>82</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	82
項目	値						
さ	100						
国	82						
<p>教職員と生徒がやりとりする場面で、コンピュータなどの I C T 機器を活用した取組を行っていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>42</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	42
項目	値						
さ	100						
国	42						
<p>生徒同士がやりとりする場面で、コンピュータなどの I C T 機器を活用した取組を行っていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>22</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	22
項目	値						
さ	100						
国	22						
<p>教職員と家庭の連絡として、コンピュータなどの I C T を活用した取組を行っていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>50</td></tr> <tr><td>国</td><td>45</td></tr> </table>	項目	値	さ	50	国	45
項目	値						
さ	50						
国	45						
<p>生徒が 1 人で活用する場面で、コンピュータなどの I C T 機器を活用した取組を行っていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td>62</td></tr> </table>	項目	値	さ	100	国	62
項目	値						
さ	100						
国	62						

<p>生徒一人一人に配備されたPC・タブレット等の端末を利用していますか。(時々以上)</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>95</td></tr> <tr><td>国</td><td>25</td></tr> </table>	項目	値	さ	95	国	25
項目	値						
さ	95						
国	25						

## キ 小中連携

<p>近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>95</td></tr> <tr><td>国</td><td>65</td></tr> </table>	項目	値	さ	95	国	65
項目	値						
さ	95						
国	65						
<p>近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>95</td></tr> <tr><td>国</td><td>65</td></tr> </table>	項目	値	さ	95	国	65
項目	値						
さ	95						
国	65						
<p>全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小学校と成果や課題を共有しましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>48</td></tr> <tr><td>国</td><td>45</td></tr> </table>	項目	値	さ	48	国	45
項目	値						
さ	48						
国	45						

## ク 家庭や地域との連携

<p>職場見学や職場体験活動を行っていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>95</td></tr> <tr><td>国</td><td>88</td></tr> </table>	項目	値	さ	95	国	88
項目	値						
さ	95						
国	88						
<p>教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>95</td></tr> <tr><td>国</td><td>85</td></tr> </table>	項目	値	さ	95	国	85
項目	値						
さ	95						
国	85						
<p>保護者や地域の方が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>95</td></tr> <tr><td>国</td><td>85</td></tr> </table>	項目	値	さ	95	国	85
項目	値						
さ	95						
国	85						
<p>地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>50</td></tr> <tr><td>国</td><td>65</td></tr> </table>	項目	値	さ	50	国	65
項目	値						
さ	50						
国	65						

<p>保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>90</td></tr> </table>	項目	値	さ	98	国	90
項目	値						
さ	98						
国	90						

## ケ 家庭学習

<p>家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>85</td></tr> </table>	項目	値	さ	98	国	85
項目	値						
さ	98						
国	85						
<p>家庭学習の取組として、学校では、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>50</td></tr> <tr><td>国</td><td>90</td></tr> </table>	項目	値	さ	50	国	90
項目	値						
さ	50						
国	90						
<p>家庭学習の取組として、学校では、生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かしましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>50</td></tr> <tr><td>国</td><td>85</td></tr> </table>	項目	値	さ	50	国	85
項目	値						
さ	50						
国	85						

## コ 全国学力・学習状況調査の活用

<p>全国学力・学習状況調査の問題を活用していますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>60</td></tr> <tr><td>国</td><td>35</td></tr> </table>	項目	値	さ	60	国	35
項目	値						
さ	60						
国	35						
<p>全国学力・学習状況調査の自校の結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>85</td></tr> </table>	項目	値	さ	98	国	85
項目	値						
さ	98						
国	85						
<p>全国学力・学習状況調査の結果を、教育活動の改善のために活用していますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>85</td></tr> <tr><td>国</td><td>10</td></tr> </table>	項目	値	さ	85	国	10
項目	値						
さ	85						
国	10						
<p>全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか。</p>	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>さ</td><td>98</td></tr> <tr><td>国</td><td>85</td></tr> </table>	項目	値	さ	98	国	85
項目	値						
さ	98						
国	85						

## サ 新型コロナウイルス感染症の影響

<p>一斉休校の期間、I C T機器を用いた学習を課していましたか。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>さ</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	国	20	さ	32
Category	Percentage						
国	20						
さ	32						
<p>一斉休校の期間、I C T環境がない家庭の児童に対して特に支援は行わなかった。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>さ</td> <td>98</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	国	88	さ	98
Category	Percentage						
国	88						
さ	98						
<p>新型コロナウイルス感染症の影響前と現在を比較して、教員の業務量は増えましたか。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>さ</td> <td>98</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	国	82	さ	98
Category	Percentage						
国	82						
さ	98						

「教科指導」、「授業改善」、「学校経営」、「教員の資質向上」、「I C T機器の活用」、「小中連携」、「家庭や地域との連携」、「全国学力・学習状況調査の活用」、「一斉休校時における支援」においては、よく行われていると回答している。

「家庭学習」については、課題が見られると回答している。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で教員の業務量が増えたと回答している。

(11) 児童・生徒質問紙と学校質問紙の関連

(上段・・・児童・生徒質問紙、下段・・・学校質問紙)

自分には、よいところがあると思う。	+	+
	(小6)	(中3)
学校生活の中で、児童生徒一人ひとりのよい点や可能性を見つけ、児童に伝える等積極的に評価している。	+(小)	+(中)

→ 小・中学校ともに、関連性が見られる。

将来の夢や目標を持っている。	+	+
	(小6)	(中3)
児童に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしている。	-(小)	+(中)

→ 小学校は、学校と児童の意識にズレが見られる。中学校は、学校の指導と生徒の意識に関連性が見られる。

(11) 学力向上に向けて（今後の対策） 下線箇所（~~~~）は、新規。

① 学校への指導・支援

ア 授業改善を指導する。

→ 全小中学校から要請を受け、研究授業の実施後、授業研究会において、指導・助言している。（H28～）

イ 教職員を県外の研究授業に参加させる。（H28～）

H31年度は、秋田県由利本荘市に全小中学校の学習指導主任及び学力向上推進リーダーを派遣。令和2・3年度と新型コロナウイルス感染症の影響で中止。

新型コロナ感染症が収束した際は、秋田県由利本荘市視察を再開。

（若手教員を対象とする予定）

また、学習指導主任を小中一貫教育が効果を挙げている自治体を視察。（案）

ウ 全教職員で「学力向上改善プラン」を確認するように指示。（H29～）

→ 課題解決に向けた取組みを重点化・焦点化し、学年ごとや教科ごとで徹底して取り組ませる。

エ 調査問題の活用を図らせる。（H27～）

昨年度、全ての学校で調査問題に慣れさせる意味からも活用を図った。

オ 読書の奨励（H31～）



② 市教委として取り組むこと

ア 市独自の学力調査の実施（H29～）

→ 年度途中にテストを実施。課題を把握し、年度内に対策をとる。

イ 放課後（水曜日）や土曜日の学習支援事業の実施（H30～）

→ 水曜日の放課後、1時間～1時間半の間、数学と英語の補習を中心に実施。  
（土曜日は中学校3年生を対象に、10月以降、午前中の受験対策を実施。）  
地域の学習サポーター等を講師として、生徒の学習支援を行う。

ウ 学力向上推進研修会の実施（H29～）

→ さくら市の学力向上の取組を説明するとともに、各校の課題解決に向けた策を検討する。さらに、12月に実施する市独自の学力調査結果の分析をもとに、各校の課題解決のための具体的な方策を考える。また、専門家の意見を受けて、新たな視点から検証する機会とする。

エ 小中一貫教育の推進（R3～）

→ 小中一貫全体構想をもとに、相互授業参観を核として、表現力の育成に重点を置いて、小中一貫教育の推進を図る。

オ MIM（R2～）、コグトレの導入

→ 令和2年度～、小学校1・2年生を対象に、多層指導モデルを導入し、読みの流暢性を通して、読解力の向上を図る。また、次年度以降、認知機能トレーニングであるコグトレの導入し、学力の土台となる認知機能に焦点をあて、個に応じた指導を検討していく。